茨城県獣医師会会報

JOURNAL OF THE IBARAKI VETERINARY MEDICAL ASSOCIATION

No.91

5.2019

公益社団法人　茨城県獣医師会

公益社団法人日本獣医師会
獣医師福祉共済事業

獣医師の皆さまとご家族に大きな安心を!!

獣医師の皆さまを取り巻く様々なリスクの備えに

「獣医師会のほけん」

一家の大黒柱の獣医師ご本人が病気やケガで働けなくなったら・・・・
ご本人やご家族が病気やケガで入院や通院をされたら・・・・
動物病院の従業員の皆さまがお仕事中にケガをされたら・・・・
動物病院の什器・備品・医療機器が偶然な事故で損害を被ったら・・・・

団体割引20%　病気やケガに備える

所得補償保険	団体長期障害所得補償保険	新・団体医療保険*1	傷害総合保険	動物病院従業員補償 傷害総合保険*2
ご本人やご家族（就業者）が病気やケガで働けなくなったときの補償（入院は初日から最長369日 自宅療養は支払対象外期間4日の後最長1年間補償）	ご本人やご家族（就業者）が長期に渡り、病気やケガで働けなくなったときの補償（支払対象外期間369日の後最長70歳まで補償）	ご本人やご家族が病気やケガにより入院・通院・手術したときの補償	ご本人やご家族がケガにより入院・通院・手術したときの補償	動物病院の従業員が仕事中にケガをして入院・通院・手術したときの補償

*1 医療保険基本特約、疾病保険特約、傷害保険特約、がん保険特約セット団体総合保険
*2 就業中のみの危険補償特約セット傷害総合保険

動物病院の「什器・備品・医療機器」の損害に備える

動物病院「什器・備品・医療機器」総合補償（テナント総合保険）

下記損害に関する補償がセットされています。
①火災・爆発・風災・盗難・破損等の「偶然な事故」による動物病院の動産（設備・什器・備品等）の損害
②火災・爆発・風災・水災などの事故による動物病院やユーティリティー設備の損害による動物病院の休業損害
③火災・爆発・破損などが原因で建物オーナー対して負担する賠償責任
（③は借用店舗の場合に補償対象となります。）

日本獣医師会福祉共済事業各保険の資料は下記幹事代理店までご請求ください。
なお、携帯電話からもご請求いただけます。右のQRコードからアクセスしてください。

保険契約者　**公益社団法人 日本獣医師会**

このご案内は概要です。詳しい内容につきましてはパンフレットをご請求いただき、取扱代理店または損保ジャパン日本興亜営業店までお問い合わせください。

問い合わせ先

幹事代理店　**株式会社安田システムサービス**
〒163-1529　東京都新宿区西新宿1-6-1新宿エルタワー29F
TEL:03(3340)6497　FAX:03(3340)5700
受付時間 9:00～17:30（土･日･祝休）

引受保険会社　**損害保険ジャパン日本興亜株式会社**
団体･公務開発部第二課
〒160-8338　東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL.03-3349-5402　FAX.03-6388-0161
受付時間 9:00～17:00（土･日･祝休）

SJNK18-11476（2018.12.7）

獣医師の誓い－95年宣言

人類は、地球の環境を保全し、他の生物と調和を図る責任をもっている。特に獣医師は、動物の健康に責任を有するとともに、人の健康についても密接に関わる役割を担っており、人と動物が共存できる環境を築く立場にある。

獣医師は、また、人々がうるおいのある豊かな生活を楽しむことができるよう、広範多岐にわたる専門領域において、社会の要請に積極的に応えていく必要がある。

獣医師は、このような重大な社会的使命を果たすことを誇りとし、自らの生活をも心豊かにすることができるよう、高い見識と厳正な態度で職務を遂行しなければならない。

以上の理念のもとに、私たち獣医師は、次のことを誓う。

1　動物の生命を尊重し、その健康と福祉に指導的な役割を果たすとともに、人の健康と福祉の増進に努める。

2　人と動物の絆（ヒューマン・アニマル・ボンド）を確立するとともに、平和な社会の発展と環境の保全に努める。

3　良識ある社会人としての人格と教養を一層高めて、専門職としてふさわしい言動を心がける。

4　獣医学の最新の知識の吸収と技術の研鑽、普及に励み、関連科学との交流を推進する。

5　相互の連携と協調を密にし、国際交流を推進して世界の獣医界の発展に努める。

茨城県獣医師会会訓

１．茨城県獣医師会は、会員の団結と和を基本理念とする伝承を継承して、秩序ある運営をはかり堅実な事業の発展を期する。

２．茨城県獣医師会は、動物愛護を通じて社会貢献につとめ、同業相互協力の精神を保持する。

３．茨城県獣医師会会員は、最新学術の研修につとめ、獣医師の誇りと品格を高揚する。

茨城県獣医師会会報　第91号　目次

＜会務報告＞
第16回定時総会の開催結果について …… 3
平成30年度正副支部長会議の開催結果について …… 5
＜行政機関情報等＞
国内における豚コレラの発生状況と本県の対応について …… 12
本県におけるアライグマの防除について …… 14
茨城県における傷病鳥獣救護等取扱要領等の一部改正について …… 16
「犬猫殺処分ゼロを目指すプロジェクト事業」等の一部改正について …… 18
本県における平成30年間の食中毒発生状況について …… 20
＜学術研究＞
茨城県内で発生状況犬Anaplasma phagocytopilum感染症
～これまでに分かったこと～ …… 福井祐一 …… 22
＜関係団体等情報＞
日立市かみね動物園「はちゅウるい館」の開館について …… 24
食の安全と家畜の診療 …… 26
全国初「奥久慈しゃも」地理的表示（GI）保護制度に登録 …… 27
第20回全国山羊サミットin茨城開催報告 …… 28
＜部会・地区便り＞
部会・支部等活動報告 …… 30
＜随筆・随想等＞
狂犬病の現状 …… 菅原茂美 …… 36
最新の分子標的治療薬について …… 村田篤 …… 37
オットセイ見聞録～雨とオットセイと私～ …… 高石慎也 …… 38
経験の逆機能 …… 菅原茂美 …… 41
＜本会報告＞
茨城県獣医師会創立70周年記念事業報告 …… 45
平成30年度事業実施報告 …… 50
日本獣医師会創立70周年記念行事が開催されました …… 58
＜福利厚生事業＞
会員の福利厚生事業報告 …… 61
会員訃報 …… 61
平成30年度本会新入会員紹介 …… 62
平成30年度本会退会者 …… 62
所属変更 …… 62
＜動物名のルーツを探る＞
シリーズ45　カモ …… 35
シリーズ46　タイ …… 54
＜こぼればなし＞
韓国「七放」の嘆き …… 7
アルビノとは …… 13
東京タワーの怪 …… 25
常陸国の豊かさ …… 42
目には青葉・山時鳥・初鰹 …… 47
人の膵臓　ブタで作製 …… 52
＜編集後記＞ …… 74

第16回定時総会の開催結果について

第16回定時総会が平成31年３月26日(火)に「三の丸ホテル」において開催された。開催結果は以下のとおり。

【第16回定時総会の議事概要】

日　時：平成31年３月26日（火）　13時～13時45分
場　所：三の丸ホテル（水戸市三の丸２－１－１）

【議事経過】

1　開会の辞　田中　宏和　副会長
2　物故会員に対する黙祷
3　挨　拶　宇佐美　晃　会長
4　議長選出　定款第16条により出席した正会員の中から選出
　・議　長　照山　芳樹(勤務退職者支部)
　・副議長　村田　篤（第３支部）
5　議事録署名人　定款第20条第２項により出席理事が記名押印
6　書記任命　中野　真紀子（事務局）
7　議　事　後記のとおり
8　閉会の辞　山室　司　副会長

【充足数報告】

本会総正会員数619名、うち本人出席者104名と委任状提出者337名の合計出席者会員数は441名で過半数以上に達しており、本総会が成立する旨議長より告げられた。

･･･　概要　･･･

【宇佐美　晃　会長挨拶要旨】

＊　日ごろの事業推進への協力御礼
＊　昭和23年に創立した茨城県獣医師会は70周年を迎える。
　本日総会終了後、多くのご来賓等をお迎えして記念式典の挙行並びに祝賀会を開催します。準備からのご協力、記念誌作成協力の御礼
＊　各事業の推進のため平成31年度事業案及び予算案を提示しましたので慎重な審議と今後の円滑な事業推進にご支援・ご協力願いたい。

【議　事】

決議事項・・・各議案は、原案どおり承認可決された。

第１号議案　平成31年度事業計画（案）及び同経費収支予算（案）について
第２号議案　平成31年度会費徴収額決定について
第３号議案　平成31年度借入金の最高限度額について

第1号議案　平成31年度事業計画（案）及び同経費収支予算（案）について

●**事業計画書**（2019年４月１日から2020年３月31日まで）
事務局から以下の１～４の事業と５の特記事項について説明があった。

1　動物愛護に関する公益事業
（1）人獣共通感染症対策事業
　・狂犬病予防事業の推進
　・動物由来感染症対策の推進　他
（2）動物愛護事業
　・ペット繁殖防止助成事業
　・マイクロチップ普及促進事業
　・各種動物愛護啓発事業等の推進
　・教育現場への支援事業
　・災害時動物救護事業　他
（3）学術事業
　・2019年関東・東京合同地区獣医師大会・三学会等について
　(2019年10月27日(日)「幕張メッセ」千葉市美浜区中瀬2-1において開催予定)
　・獣医技術の調査、研修事業等　他

2　検査受託事業

茨城県からの受託事業として「と畜検査補助事業」を含めて６本の事業を実施する。

・食の安全対策・公衆衛生関連事業
・獣医療、家畜防疫、動物由来感染症関連事業
・野生動物の保護関連事業
・動物愛護関連事業

3　福利厚生事業

（1）指定獣医師共済基金の運営
（2）会員の親睦推進
（3）会員等の表彰

4　収益事業

動物霊園の賃貸

5　特記事項

厳しい財政状況と助成金の拡充等さらに公益事業を拡充するため2019年度も引き続き役員報酬を20％減額する。

（平成25年４月１日から減額措置・「役員等報償規程」第3条に基づき、在任期間により慰労金を支給していた。

平成29年７月20日開催の理事会において、経費節減から役員報償規程を改正し、在任期間に関わらず一律の記念品贈呈に改めた。）

●資金調達及び設備投資の見込額

1　資金調達の見込額

理事会の決議によって、運転資金として5,000万円を限度に期中に金融機関から借り入れることができる。

2　設備投資の見込み額

特記事項なし

★収支予算（2019年４月１日から2020年３月31日まで）

事務局から収支予算（損益ベース）内訳表により公益目的事業（公１、公２）会計及び収益事業会計、法人会計の区分により説明があった。

▽一般正味財産増減の部

経常増減の部

・経常収益計	329,753,359円
・経常費用計	335,978,228円
・当期経常増減額	－6,224,869円

経常外増減の部

・経常外収益計	0円
・経常外費用計	0円
・当期一般正味財産増減額	－6,224,869円

▽指定正味財産増減の部

・当期増減、期首及び期末残高　0円

▽正味財産期末残高　4,500,000円

※公益目的事業費率は88%、会費の公益目的事業支出割合は44％

正副支部長会議等での意見を踏まえ、学術事業等を強化するため部会活動費の増額、組織強化費の運用方法を地域実情に合わせて改善しました。

第２号議案　平成31年度会費等徴収額決定について

入会金、会費、協力費について原案どおり承認されました。

第３号議案　平成31年度借入金の最高限度額について

・短期で運転資金（検査受託事業における給与立替金）として借入金の限度額5,000万円。
・取引金融機関は、（株）常陽銀行、茨城県信用農業組合連合会、（株）筑波銀行。

その他

なし

平成30年度正副支部長会議の開催結果について

◆第１回会議の概要

日　時：平成30年11月15日（木）　14時～15時30分

場　所：茨城県動物指導センター会議室（笠間市日沢47）

【議事経過】

1　開会の辞　　　　田中　宏和　副会長

2　挨　　拶　　　　宇佐美　晃　会長

3　議　　題

（1）平成30年度関東・東京合同地区獣医師大会・三学会について

（2）動物愛護事業経過報告について

（3）狂犬病予防事業経過報告について

（4）平成30年度狂犬病予防事業推進並びに動物愛護地域連絡会議報告について

（5）その他

獣医療体制整備関係

獣医師法第22条の届出について

4　閉会の辞　　　　山室　司　副会長

【議　題】

1　平成30年度関東・東京合同地区獣医師大会・三学会について

【詳細につきましては「茨城県獣医師会報第90号2018年11月」に掲載させていただいております。】

開催概要

参加人数報告	参加総数	1,357名
【内訳】		
他都県獣医師会（９獣医師会）		386名
千葉県 63名・栃木県 38名・神奈川県 54名・埼玉県 41名・群馬県 31名・山梨県 39名・横浜市 40名・川崎市 19名・東京都 61名		
茨城県獣医師会		312名
学会長・学識経験者審査員		6名
来　　賓		11名
市民公開講座・特別講演講師		3名
企業参加者		134名
会員外参加者		6名
市民公開講座参加者（一般市民）		499名

平成30年度関東・東京合同地区獣医師大会

①来賓（次頁に掲載）

②獣医事功績者表彰被表彰者

１都７県２市獣医師会より75名表彰

当日出席者　　　　　　35名

代表謝辞　前田　亨先生（茨城県保健福祉部技監兼生活衛生課長）

③大会提出議案５題は原案通り可決承認

日本獣医師会あて要望書として提出

平成30年度獣医学術学会（関東・東京）審査結果

①日本産業動物獣医学会（関東・東京）

発表演題数　　　23題

地区学会長賞　　２題

（内１題は県北家畜保健衛生所高安真理子先生が受賞）

学術奨励賞　　　２題

②日本小動物獣医学会（関東・東京）

発表演題数　　　41題（A会場21題・B会場20題）

地区学会長賞　　２題（A会場1題・B会場1題）

学術奨励賞　　　４題（A会場2題・B会場2題）

③日本獣医公衆衛生学会（関東・東京）

発表演題数　　　13題

地区学会長賞　　１題

学術奨励賞　　　１題

市民公開講座

座長：土井　幹雄（茨城県保健所長会 会長）

テーマ「最近の動物由来感染症について

（ダニが媒介する感染症）」

【講演１】講師：森川　　茂

（国立感染症研究所 獣医科学部 部長）

演題：ダニ媒介感染症の概要

「動物のSFTSと動物からの感染リスク」

【講演２】講師：諸岡　信裕

（一般社団法人 茨城県医師会 会長）

演題：動物由来感染症の現状

「人とペットの正しいお付き合いとは！－動物由来感染症を考える－」

参加人数　756名

（一般市民499名・会員257名）

特別講演

講師：佐野　忠士（酪農学園大学 准教授）

演題：「明日から使える周術期の麻酔管理と疼痛管理のコツ」

展示企業（47ブース・47社）

抄録広告協賛企業・団体（43社）

展示会場での県物産品紹介・販売　　5社

（阿さ川製菓・明利酒類・納豆販売AS企画・佃煮安倍・つくば物産館）

交流会　獣医師会員・来賓、展示企業からの参加者も含めて、500名を超える参加をいただきました。

水戸観光コンベンション協会に、梅大使４名の派遣を依頼。御来賓の出迎え、大会会場への御来賓案内、功績者表彰式の介添え、表彰者との写真撮影、交流会会場入口でお出迎え、優秀発表者表彰式の介添えなどの協力をいただきました。

平成30年度 関東・東京合同地区獣医師大会概要

開　　会　公益社団法人茨城県獣医師会

副会長　田中　宏和

黙　　祷

獣医師の誓い－95宣言

公益社団法人茨城県獣医師会

理事　松本　　徹

関東・東京合同地区獣医師大会 会長挨拶

公益社団法人茨城県獣医師会

会長　宇佐美　晃

表 彰 式　獣医事功績者表彰

受彰者代表謝辞

公益社団法人茨城県獣医師会

保健福祉部支部　前田　　亨　様

来賓御祝辞

農林水産省消費安全局長代理

消費・安全局　畜水産安全管理課

課長補佐　中元　哲也　様

厚生労働省健康局長及び大臣官房

生活衛生・食品安全審議官代理

医薬・生活衛生局 食品監視安全課

課長　道野　英司　様

環境省自然環境局長代理

関東地方環境事務所　野生生物課

課長　横田　寿男　様

参議院議員　岡田　　広　様

茨城県知事　大井川和彦　様

つくば市長　五十嵐立青　様

一般社団法人茨城県医師会

会長　諸岡　信裕　様

公益社団法人日本獣医師会

副会長　酒井　健夫　様

＜来賓御紹介＞

日本獣医師連盟

委員長　北村　直人　様

日本産業動物獣医学会

副学会長　佐藤　真澄　様

日本小動物獣医学会
学会長　佐藤れえ子　様
日本獣医公衆衛生学会　学会長
並びに日本獣医公衆衛生学会
関東・東京地区学会長
丸山　総一　様
日本産業動物獣医学会
関東・東京地区学会長
白井　淳資　様
日本小動物獣医学会
関東・東京地区学会長
小山　秀一　様
＜祝電披露＞

議長選出

議　　事　平成29年度経過報告
公益社団法人東京都獣医師会
会長　村中　志朗　様
平成30年度大会提出議案
（第１号議案～第５号議案）

大会宣言　公益社団法人茨城県獣医師会
理事　青木　健一

次期開催担当獣医師会 会長挨拶
公益社団法人千葉県獣医師会
会長　市川陽一朗　様

閉　　会　公益社団法人茨城県獣医師会
副会長　山室　　司

こぼればなし

韓国「七放」の嘆き

現在、韓国は就活において「七放」の嘆きに苦しんでいるという。若者は就職を目指すためには、７種目の希望を捨てているという。2010年頃までは「恋愛」「結婚」「出産」の、３放であったが、だんだん厳しくなってくると、「人間関係」と「マイホーム」が加わり、５放、そして現在は「就職」と「夢」までも含め７放に達しているという。これでは若者たちは、何を目当てに就活に励んだらよいというのであろうか？７つの人生重大イベントを放棄しても、希望の就職ができない苦しみは察するに余りある。

ソウル大学を卒業しても、希望するサムスン・ＬＧ・現代はまず夢のまた夢。学生の多くが、財閥系のグローバル企業を目指す。数百倍の狭き門だという。ましてや中小企業では採用難に悩む。30歳の新入社員も珍しくはないという。韓国の15～24歳の若年失業率は10％前後で高止まり。日本は3.7％と低い。

さてこのような現象は対岸の火事ではない。英語力など強い学生が、日本のソフトバンクや日産自動車などを希望し、すでに日本人受験生を押しのけ80人以上も合格している。韓国では19～22歳は兵役義務化されている。日本企業では兵役で培われた体力や規律性に魅力を感じ、更に英語力に差をつけられているようでは日本人学生もウカウカできない。ましてや日本でも通年採用が一般化すると、若年失業が社会問題化しそうだといわれる。新卒一括採用が崩れれば、多くの若者が就職浪人して大企業を目指す可能性は大きくなる。経済のグローバル化に伴い国境を越えた人材の流動化が進む。現に楽天は新卒採用の技術者の半数以上を外国人が占めているという。日本の若者の覚悟やいかに？

（出展：2019年２月11日：読売新聞）　　S．S

２　動物愛護事業経過報告について

（１）平成30年度マイクロチップ埋込み助成事業実施経過

（平成30年11月12日現在）

①　動物指導センター・ブロック等譲渡会
…該当なし

②　動物病院での埋込み助成
415頭（犬204頭・猫211頭）
飼い主が茨城県内に在住し、会員動物病院にてマイクロチップの埋込みを実施した犬猫を対象として、１頭2,000円を助成。
なお、先着1,000頭とした。

（２）平成30年度マイクロチップ登録助成事業実施経過

（平成30年11月12日現在）

①　動物指導センター・ブロック等譲渡会（登録料・同事務本会負担）
…該当なし

②　動物病院での埋込み分助成（登録料・同事務本会負担）
447頭（犬228頭・猫219頭）

（３）平成30年度避妊・去勢手術助成事業

（平成30年11月12日現在）

①　動物指導センター・ブロック等譲渡会
２頭（猫雌　２頭）
犬雌4,000円・雄3,000円
猫雌3,000円・雄2,000円

②　動物病院での実施
1,112頭（犬避妊 123頭、犬去勢 128頭）
（猫避妊 485頭、猫去勢 376頭）
助成額　一律　2,000円助成
犬猫の区別なく先着1,000頭

（４）平成30年度盲導犬に関する助成

（平成30年11月12日現在）

①　狂犬病予防注射料金の助成　　９頭

②　診療費等助成　　５頭

③　日本盲導犬協会による学校キャラバンへの協力

３　狂犬病予防事業経過報告について

（１）平成30年度事故対策委員会

①　日　時：　平成30年７月24日（火）
13時30分～15時25分

②　場　所：　茨城県獣医師会　会議室
（水戸市千波町1234-20）

③　議　事：

平成30年度狂犬病予防注射事故について
・発生状況や事故に対する対応（２件審議）
・注射事故に係る診療費及び見舞金等の検討

【結　果】

平成30年度狂犬病予防注射事故について
・発生状況や事故に対する対応（２件審議）
提出された２件の報告内容について検討した結果、経費についてはいずれも概ね実費相当での申請金額となっているため申請総額93,128円について全額交付を決定した。

委員意見
・事故案件に際しての意見
◎　集合注射実施日における、当番病院（事故対応待機病院）を決めておくことの必要性
◎　事故発生の際に市町村へ連絡する体制について注射会場で啓発の必要性
◎　休日に体調不良等の連絡が市町村にあった場合、当直職員から担当課職員への連絡、さらに、担当職員から担当獣医師への連絡が取れるよう、事故時対応連絡網の策定・構築の必要性

４　平成30年度狂犬病予防業務推進並びに動物愛護地域連絡会議報告について

開催期日　平成30年11月７日（水）14時から
「三の丸庁舎・会議室」

20市町村・獣医師会４支部
（１・２・３・４各支部）
開催期日　平成30年11月８日（木）14時から
「霞ヶ浦環境科学センター
多目的ホール」
24市町村・獣医師会６支部
（５・６・７・８・９・10各支部）
主な意見・要望事項
◎　狂犬病予防注射事業
・　集合注射獣医師の確保について
・　狂犬病予防の意識啓発（県内小中学校への働きかけ）
・　休日の集合注射接種後における死亡事例の対応策について
・　集合注射会場における動物愛護推進員の役割分担等
◎　動物愛護事業
・　殺処分ゼロを目指すプロジェクト事業の地域猫不妊去勢手術費補助を受けた猫の適切な取り扱いについて
・　子猫の遺棄に係る警察への通報等対応
・　保護猫の適切な管理について
・　殺処分ゼロを目指すプロジェクト事業取り組み概要について

５　その他

【獣医療体制整備関係】

関係支部長から次の報告・指導があった。

・獣医師法第22条の届け出について

・平成29年度茨城県における犬猫の殺処分について

犬　338頭　対前年比　　274頭の減
猫　375頭　対前年比　1,304頭の減

茨城県では引き続き飼い主への適正飼養の普及啓発をはじめとした各種施策を推進し犬猫殺処分ゼロを目指します。

・茨城県獣医師会　臨床獣医師部会主催の「市民公開講座」について

ご存知ですか？『Sマーク』
厚生労働大臣認可
安　全（Safety）
安　心（Standard）
清　潔（Sanitation）
信頼の理容・美容・クリーニング
飲食店に与えられる目印です
（公財）茨城県生活衛生営業指導センター
TEL. 029-225-6603

◆第２回会議の概要

日　時：平成31年２月21日（木）　14時～15時55分

場　所：茨城県動物指導センター会議室（笠間市日沢47）

【議事経過】

1　開会の辞　　　　田中　宏和　副会長

2　挨　拶　　　　　宇佐美　晃　会長

3　議　題

（1）平成31年度狂犬病予防注射消耗器材について

（2）平成31年度事業計画（案）及び予算の骨子（案）について

（3）茨城県獣医師会創立70周年記念事業について

（4）その他

獣医療体制整備関係

・豚コレラ、アフリカ豚コレラ及び鳥インフルエンザに係る飼養衛生管理基準の再徹底について

4　閉会の辞　　　　山室　　司　副会長

【議　題】

1　平成31年度狂犬病予防注射消耗器材について

平成31年１月21日（月）本会会館会議室にて当該器材の入札を実施したところ、２社の応札があった。

なお、入札条件は安定したワクチン確保及び品質管理等のため従前の競争入札時の条件と同様としたことなど協議結果等を報告確認した。

（1）通知会社…６社

茨城県動物薬品器材協会員で狂犬病予防液の販売取扱可能な会社

（2）応札会社…２社

・アクティ（株）茨城営業所（水戸市）

・森久保薬品（株）茨城事業部（下妻市）

（3）落札会社

森久保薬品（株）茨城事業部（下妻市）

2　平成31年度事業計画（案）及び予算の骨子（案）について

詳細は「第16回定時総会の開催結果について」を参照願います。

◆　**事業計画書**（2019年４月１日から2020年３月31日まで）

（1）動物愛護に関する公益事業

①　人獣共通感染症対策事業

②　動物愛護事業

③　学術事業

（2）検査受託事業

茨城県からの受託事業について

（3）福利厚生事業

（4）収益事業　　動物霊園の賃貸

（5）特記事項　平成31年度も引き続き役員報酬を減額措置

●　**資金調達及び設備投資の見込額**

資金調達の見込額、設備投資の見込み額：特記事項なし

★　**収支予算**（2019年４月１日から2020年３月31日まで）

事務局から収支予算（損益ベース）内訳表により公益目的事業（公１、公２）会計及び収益事業会計、法人会計の区分により説明

▽一般正味財産増減の部

経常増減の部

・経常収益計	329,753,359円
・経常費用計	335,978,228円
・当期経常増減額	－6,224,869円

経常外増減の部

・経常外収益計	0円
・経常外費用計	0円
・当期一般正味財産増減額	－6,224,869円

▽指定正味財産増減の部
　　・当期増減、期首及び期末残高　0円
▽正味財産期末残高　4,500,000円
※公益目的事業費率は88％、会費の公益目的事業支出割合は44％

正副支部長会議等での意見を踏まえ、学術事業等を強化するため部会活動費の増額、組織強化費の運用方法を地域実情に合わせて改善しました。

3　茨城県獣医師会創立70周年記念事業について

（公社）茨城県獣医師会　創立70周年記念式典関係案を協議

日　時　平成31年3月26日（火）
　　　　14時30分（受付13時30分から）
場　所　三の丸ホテル
　　　　（茨城県水戸市三の丸2－1－1）

記念式典（着座・スクール）14時30分～15時30分

⑴　開会の辞
⑵　茨城県獣医師会長あいさつ
⑶　来賓祝辞
⑷　来賓紹介
⑸　祝電披露
⑹　事業等報告
⑺　功労者表彰
　①茨城県知事感謝状（獣医療の向上）
　②茨城県農林水産部長感謝状
　　　　（畜産振興・家畜衛生）
　③茨城県保健福祉部長感謝状
　　　　（公衆衛生・動物愛護）
　④茨城県県民生活環境部長感謝状
　　　　（傷病鳥獣保護）
　⑤日本獣医師会長表彰状（獣医療の向上）
　⑥日本獣医師会長感謝状（獣医療の向上）
　⑦茨城県獣医師会長感謝状
　　（事業の推進・獣医療の向上・と畜検査業務推進）
　⑧茨城県獣医師会長特別感謝状
　　　　（功労企業等）
⑻　受賞者代表謝辞
⑼　閉会の辞

記念祝賀会（立食形式）15時45分～17時30分

⑴　開会の辞
⑵　開会あいさつ
⑶　来賓ご祝辞
⑷　乾　　杯
⑸　祝　　宴
⑹　万歳三唱
⑺　閉会の辞

創立70周年記念誌編纂・発行の案について協議

趣　　旨　40周年以降30年間にわたる獣医師会関係記録がまとまっていないことから、活動状況等をまとめて、将来に向けた記録集として作成、保存する。
予　　算　100万円以内
部　　数　900部（創立40周年記念誌発行部数1,000部）
配布対象　全会員・各都道府県市獣医師会、県内関係行政機関、友好団体、式典来賓等
発行時期　平成31年3月上旬までに作成
　　　　　70周年記念式典に発行（記念式典の「記念品」）
仕　　様　紙ベース
　　　　　（A4版　PP加工表紙　アートポスト）
　　　　　100ページから200ページ以内・カラー仕上げ
　　　　　広告は不掲載

以　上

4　その他

【獣医療体制整備関係】

豚コレラ、アフリカ豚コレラ及び鳥インフルエンザに係る飼養衛生管理基準の再徹底について

国内における豚コレラの発生状況と本県の対応について

茨城県農林水産部畜産課

発生状況

平成30年９月９日に岐阜県において、国内26年ぶりに発生が確認されました。その後、愛知県、長野県、滋賀県及び大阪府に感染が拡大し、17例43施設で発生が確認されています（現在までの発生状況は表のとおり）。また、野生いのししでは、岐阜県で240頭、愛知県で13頭の豚コレラを確認しています。

（平成31年３月30日現在）

（H31．3．31時点）

発生No	府県名	発生日	施設数	殺処分頭数
１～７	岐阜県	H30．9．9 ～H31．1．19	発生農場　7 関連施設　2	10,658 頭 1,016 頭
8	愛知県	H31．2．6	発生農場　1	5,620 頭
関連施設＊ ４府県	長野県 岐阜県 大阪府 滋賀県	H31．2．6	関連施設　6	9,697 頭
9	愛知県	H31．2．13	発生農場　2 関連農場　14	1,180 頭 13,420 頭
10	岐阜県	H31．2．19	発生農場　1	5,775 頭
11	岐阜県	H31．3．7	発生農場　1	1,507 頭
12	岐阜県	H31．3．23	発生農場　1	3,328 頭
13	愛知県	H31．3．27	発生農場　1	4,140 頭
14	愛知県	H31．3．28	発生農場　1 関連施設　3	1,647 頭 5,972 頭
15	愛知県	H31．3．29	発生農場　1	1,441 頭
16	愛知県	H31．3．29	発生農場　1	997 頭
17	岐阜県	H31．3．30	発生農場　1	666 頭
合　計			43	67,064 頭

＊　関連施設：発生農場と関連のある農場やと畜場において豚コレラが確認された施設

本県の対応

国内での発生を受け、本県における対応は、

①養豚場における検査については、県内の飼養豚から600頭を抽出し抗体検査を行い、全て陰性を確認しています。また豚の検査体制については、当日中に豚コレラの遺伝子検査を行うことを徹底しています。

②死亡野生いのしし検査については、これまでに10頭の死亡いのししを検査し、全て陰性を確認しています（3月21日現在)。

③発生状況の周知と注意喚起については、県内畜産関係団体及び養豚農家に対し、発生状況を周知するとともに、異常豚の早期発見・早期通報を徹底するよう通知しています。

④海外からの侵入防止対策については、畜産農家、団体へ外国人技能実習生向け多言語リーフレットを配布（11月末）し、茨城空港において出入国者に対し、畜産物の持ち込み禁止等の広報活動を実施しました（2月8日)。

⑤発生県への人的支援については、これまで岐阜県と愛知県に獣医師職員10名を派遣し、殺処分などの防疫作業を支援しております。

このほか、発生に備えた対応として、県庁内各部を参集し「危機管理連絡会議」を開催（2月8日）したうえで、県関係機関及び関係団体を対象とした「豚コレラ緊急防疫対策会議」（2月13日)、養豚農家や市町村等を対象とした「豚コレラ防疫対策講演会」（3月20日）を開催しました。

現在も豚コレラの侵入の可能性が高い状況であり、引き続き、飼養衛生管理の徹底や早期摘発のための監視の強化に万全を期すようお願いします。

豚コレラは、豚やいのししの病気であって人に感染することはなく、仮に豚コレラにかかった豚の肉や内臓を食べても人体に影響はありません。また、感染豚の肉が市場に出回ることはありません。

農林水産部畜産課　家畜衛生・安全G　担当補佐　高橋　（ＴＥＬ：029-301-3982　内線3980）

こぼればなし

アルビノとは

動物学的には、メラニン色素の生合成にかかわる遺伝情報の欠損により、先天的に、メラニン色素が欠乏する遺伝子疾患の存在する個体を言う。先天性色素欠損症、白子症などともいう。又その個体を「白子（しらこ)」という。この反対語は「メラニズム」である。

植物にもあり、緑の色素を欠損した突然変異がある。このような個体は、独立栄養ができない為、種子の栄養を使い切れば枯死する。

人のアルビノの個体は体毛や皮膚の色は白く、瞳孔は毛細血管の透過による赤色で、劣性遺伝や突然変異により発現する。白うさぎや白蛇も有名である。アルビノは日光の紫外線による皮膚の損傷や皮膚がんのリスクが高い。動物でも外部から発見されやすく天敵に襲われやすく、生残は稀となる。　Ｓ．Ｓ

本県におけるアライグマの防除について

茨城県県民生活環境部自然環境課

1　特定外来生物のアライグマ

アライグマは、昭和50年代前半にアニメ「あらいぐまラスカル」が放映されたことによりペットブームが起き、数多く輸入されましたが、鋭いキバで噛みつくなど気性が荒く飼育が難しいことから、遺棄されるなどして野生化が進みました。繁殖力が強く、野生に天敵がいないこともあって個体数を増やし続けており、生態系や人体、農林水産業への被害が深刻化しております。このため、平成17年には、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（平成16年法律第78号）に基づき、特定外来生物に指定され、輸入、販売、飼育などが規制されました。

2　アライグマの生態と影響

生態	・原産地　北アメリカ ・夜行性で、日中は通常木の上や家屋のすき間などのねぐらで休む。 ・雑食で特に甘いものを好む。 ・手足の指が長く、手先が器用 ・農耕地、市街地など幅広い環境に適応できるが、特に水辺を好む。 ・幼獣の成長スピードは１ヶ月で平均１kgと早く、メスは生後10か月から12か月で出産可能となる。 ・妊娠期間１ヶ月程度 ・４～６月に平均３～４頭の子を出産（茨城県の出産平均　4.52頭）	
影響	農作物被害	・特にトウモロコシ、メロン、スイカ、イチゴなどの野菜・果実（平成28年度の国内被害額は３億3636万円）
	生態系被害	・在来中型哺乳類（タヌキ等）との競合 ・希少種の捕食
	生活環境被害	・文化財を含む建造物への侵入・損壊 ・糞尿による住居の汚染
	人獣共通感染症	・狂犬病、レプトスピラ症など病原体の媒介

3　本県におけるアライグマ防除について

本県でも、アライグマの生息数は増え続けています（別表参照）。県では、県内市町村をはじめ住民、農業者、関係団体などと連携して計画的、総合的な被害対策を進めるため、環境省の確認を受けて、平成22年５月に「茨城県アライグマ防除実施計画（以下「計画」という。）」を策定しました。

計画では、「本県における野外からの完全排除」を目標としており、市町村がアライグマの捕獲、処分場所への運搬を、県が捕獲個体の処分、生息状況等のモニタリングを行うことを定めており、現在も計画に基づき県全体で防除を行っているところです。

4　もしアライグマを見つけたら

発見した場所の市町村の担当部署へ、発見場所についての詳細な情報を提供していただければ幸いです。自治体職員のみでアライグマの防除を行うには限界があり、県民の皆様の御協力があってこそ、「本県における野外からの完全排除」が達成できるものと考えております。ぜひ御協力をお願いいたします。

（参考）県内におけるアライグマの防除数

（平成31年１月末現在）

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	計
水戸市		2	2	7	1		4	2	1	19
土浦市	2	1	4	5	3	25	14	19	48	121
古河市			4		3	8	9	19	15	58
石岡市	1	14	9	31	7	8	34	19	15	138
結城市					5		2	1	2	10
龍ケ崎市	1				1		3	2	4	11
下妻市						2	3	12	6	23
常総市	1	10	16	13	12	17	37	55	51	212
常陸太田市						2		1		3
笠間市								1	1	2
取手市			1			7	7	8	8	31
牛久市			2		4	9	2	4	5	26
つくば市	7	2	16	1	12	24	26	42	57	187
ひたちなか市									1	1
鹿嶋市					2		3	4	4	13
守谷市				5	7	9	13	6	12	52
筑西市	1				1	9	14	5	4	34
坂東市	2	24	5	25	16	41	89	117	350	669
かすみがうら市	34	17	22	28	60	123	114	146	152	696
桜川市								2	9	11
行方市								2	3	5
鉾田市		1								1
つくばみらい市		1	1	4			17	17	26	66
小美玉市				1		1	2	1	1	6
茨城町							7	15	6	28
大子町								1		1
八千代町					1		2	10	13	26
五霞町						1	6	1	1	9
境町						2	11	12	28	53
利根町									1	1
計	49	72	82	120	135	288	419	524	824	2,513

（参考）各市町村の担当部署

水戸市　環境課	筑西市　農政課
日立市　農林水産課	坂東市　農業政策課
土浦市　農林水産課	稲敷市　環境課
古河市　環境課	かすみがうら市　環境保全課
石岡市　農政課	桜川市　農林課
結城市　農政課	神栖市　環境課
龍ケ崎市　農業政策課	行方市　環境課
下妻市　生活環境課	鉾田市　産業経済課
常総市　農政課	つくばみらい市　産業経済課
常陸太田市　農政課	小美玉市　環境課
高萩市　農林課	茨城町　農業政策課
北茨城市　農林水産課	城里町　町民課
笠間市　環境保全課	東海村　環境政策課
取手市　環境対策課	大子町　農林課
牛久市　環境政策課	美浦村　経済課
つくば市　環境課	阿見町　農業振興課
ひたちなか市　環境保全課	河内町　都市整備課
鹿嶋市　環境政策課	八千代町　産業振興課
潮来市　環境課	五霞町　生活安全課
守谷市　経済課	境町　農業政策課
常陸大宮市　農林振興課	利根町　経済課
那珂市　環境課	大洗町　農林水産課

（考察）

・坂東市では平成29年度の防除数は117頭であったのに対し、平成30年度の防除数は350頭（1月末現在）と飛躍的に増加しており、防除が喫緊の課題となっております。

・近年まで防除数0であった行方市,笠間市,大子町などでもここ2～3年は防除を行っており、県内ではアライグマの生息域が拡大しているものと考えられます。

茨城県傷病鳥獣救護等取扱要領等の一部改正について

茨城県県民生活環境部自然環境課

茨城県における傷病鳥獣救護事業の見直しにつきましては、環境省の方針等を鑑み、救護対象種の見直しを行いました。

それに伴い「茨城県傷病鳥獣救護等取扱要領」及び「傷病鳥獣救護事業実施要領」の一部改正を行いました。

なお、見直しの経緯等は茨城県獣医師会報第90号（2018年11月号）14頁から16頁に掲載しておりますので参照願います。

「茨城県傷病鳥獣救護等取扱要領」の新旧対照表（抄）は次のとおりです。

傷病鳥獣救護事業実施要領の改正に係る新旧対照表（抄）

改　　正　　後	改　　正　　前
第２　事業対象鳥獣 この事業で対象とする鳥獣は、次に掲げる鳥獣以外の野生鳥獣で救護を必要とするもの（以下「傷病鳥獣」という。）とする。 (1)有害鳥獣※及び狩猟鳥獣（ヤマドリ、ホシハジロ、キンクロハジロ、クロガモ、スズガモ、ヤマシギ、ニュウナイスズメを除く） ※有害鳥獣とは、市町村に許可権限を委譲した種を指す。 (2)外来種の鳥獣 (3)人間に感染するおそれのある疾病にかかっている可能性のある鳥獣 (4)人に危害を及ぼすおそれのある鳥獣（例：クマ、サルなど） (5)鳥類のひな及び卵、幼獣 (6)家畜・両生類、爬虫類、ペット（飼主等の判明しない場合・飼養を放棄した場合も含む） （略） 付　則 この要領は平成31年４月１日から施行する。	第２　事業対象鳥獣 この事業で対象とする鳥獣は、次に掲げる鳥獣以外の野生鳥獣で救護を必要とするもの（以下「傷病鳥獣」という。）とする。 (1)生活環境や農林水産業の被害防止のため捕獲され負傷した鳥獣もしくは狩猟期間に狩猟行為により負傷した狩猟鳥獣（教育上の理由など、特に救護を行う必要がある場合を除く。） (2)特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律において特定外来生物に指定されている鳥獣 (3)人間に感染するおそれのある疾病にかかっている可能性のある鳥獣 (4)人に危害を及ぼすおそれのある鳥獣 (5)鳥類のひな及び卵 (6)家畜・両生類、爬虫類、ペット（飼主等の判明しない場合・飼養を放棄した場合も含む） （略）

「平成31年度（2019年度）犬猫殺処分ゼロを目指すプロジェクト事業」及び「茨城県動物の愛護及び管理に関する条例」の一部改正について

茨城県保健福祉部生活衛生課

県獣医師会会員の皆様方におかれましては、日頃より動物愛護管理行政の推進に多大なる御協力、御尽力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、平成28年12月に議員提案条例として制定された「茨城県犬猫殺処分ゼロを目指す条例」の趣旨を踏まえ、平成31年度（2019年度）に県が実施する「犬猫殺処分ゼロを目指すプロジェクト事業」並びに、平成30年第３回茨城県議会第３回定例会にて議決された「茨城県動物の愛護及び管理に関する条例」の一部改正についてご紹介いたします。

1　犬猫殺処分ゼロを目指すプロジェクト事業について

犬猫殺処分ゼロを目指すプロジェクト事業は平成29年度から開始し、３年目となります。当事業は、茨城県動物指導センター（以下、「センター」という。）に収容される犬や猫の頭数を減らす、いわゆる入口対策にあたる「犬猫殺処分ゼロを目指す環境整備事業」と、センターに収容された犬や猫の譲渡を推進して殺処分頭数を減らす、いわゆる出口対策にあたる「譲渡犬猫サポート事業」に分かれています。各事業内容につきましては、以下のとおりです。

【犬猫殺処分ゼロを目指す環境整備事業】

（１）犬猫殺処分ゼロを目指す県民意識醸成事業［継続事業］

・　ポスター、チラシ等の啓発資材を作成し、県獣医師会並びに県内市町村、動物病院、動物取扱業者（ブリーダー、ペットショップ等）、動物専門学校等に配付し、県が殺処分ゼロを目指すための取組みや寄付金を募集することを周知します。

（２）地域猫活動推進事業［継続事業］

・　飼い主のいない猫の対策として地域猫活動に取組む市町村や地域を支援するため、捕獲器の貸与や不妊去勢手術券を発行し、手術費用の補助等を実施します。

なお、不妊去勢手術券は、民間の動物病院にて使用するものです。今年度の不妊去勢手術券で助成できる１頭あたりの金額は、雄猫15,000円、雌猫22,000円となります。

動物病院の先生方におかれましては、住民から地域猫に関する御相談があった際には御協力をお願いします。

（３）犬猫殺処分ゼロ推進活動支援事業［継続事業］

・　犬猫殺処分頭数の減少に資する取組を行う団体を支援するため、取組を公募し、審査会での審査を経て選定された事業へ活動資金を補助します。

なお、補助額は一事業につき上限10万円とします。

（４）適正飼育指導員設置事業［新規事業］

・　犬猫の収容頭数の多い鹿行地域をモデルとし、人員を２名配置して、放し飼いの指導など適正飼養に関する集中的な監視指導を実施し、犬猫の収容頭数の削減を図ります。

【譲渡犬猫サポート事業】

（１）譲渡犬猫の飼育管理費補助事業［継続事業］

センターから犬や猫を譲り受け、新たな飼い主を探す活動を行っている団体、個人等（譲渡先として登録されている者に限る）に対し、犬や猫の飼養管理費の一部を補助し、譲渡頭数の増加と団体等の負担軽減を図ります。

なお、補助額は、犬又は猫の譲り受け１頭につき上限５千円とします。

（２）譲渡犬猫の不妊去勢手術実施事業［継続事業］

センターから譲渡する犬猫について、譲渡前にセンターで不妊去勢手術を施すことや、民間の動物病院で受ける不妊去勢手術について、手術券を発行し、不妊去勢手術を推進するとともに譲渡頭数の増加を目指します。

なお、不妊去勢手術券は、前述の地域猫活動推進事業と同様、民間の動物病院にて使用するものです。今年度の不妊去勢手術券で助成できる１頭あたりの金額は、雄犬22,000円、雌犬33,000円、雄猫15,000円、雌猫22,000円となります。

動物病院の先生方におかれましては、動物愛護団体等から御相談があった際には御協力をお願いします。

（３）子猫の譲渡推進事業［継続事業］

センターに収容される猫の９割以上が幼若な子猫です。子猫の譲渡を推進するため、以下の３つの施策を実施します。

・子猫のミルクボランティア

幼若な猫をお世話し、譲渡適性月齢まで預かるボランティアを公募します。

・子猫の搬送

センターから譲渡する子猫を、希望によりボランティア団体まで搬送します。

・子猫の譲渡

センターにて子猫の譲渡を随時行うこととします。

２　「茨城県動物の愛護及び管理に関する条例」の一部改正について

平成30年茨城県議会第３回定例会において「茨城県動物の愛護及び管理に関する条例」の一部改正が議決されました。この度の改正は、犬の放し飼い等の罰則を強化し、飼い主の適正な飼養管理をより徹底することにより、犬の収容頭数を減らすことを主な目的としています。

なお、施行日は平成31年（2019年）４月１日となっています。

・犬のけい留義務違反等に係る罰則の強化

改正内容：５万円以下の罰金または科料　⇒　30万円以下の罰金（全国最高水準）

・措置命令違反に係る罰則の強化

改正内容：６月以下の懲役又は20万円以下の罰金　⇒　６月以下の懲役又は50万円以下の罰金

・立入調査拒否等に係る罰則の強化

改正内容：20万円以下の罰金　⇒　30万円以下の罰金

３　最後に

県民への動物愛護意識の普及啓発や各種施策の実施におきましては、県内の獣医師の先生方の御協力なくして為し得ないものと考えております。条例の趣旨や事業の目的等を御承知のうえ、御協力賜りますようお願いいたします。

本県における平成30年間の食中毒発生状況について

茨城県保健福祉部生活衛生課

事業者の衛生水準の向上、消費者の食のニーズの多様化、検査技術の発達などを背景に、食の安全、安心を巡る状況は時々刻々と変化してきています。

食中毒は、食品に起因する消化器症状などの健康被害として定義されていますが、行政として統計上は、保健所が調査及び検査などを行い、総合的に判断して食中毒として取り扱われます。

平成が終わろうとしているこの時に、平成30年間の本県における食中毒の発生状況の概略をとりまとめてみましたので報告します。

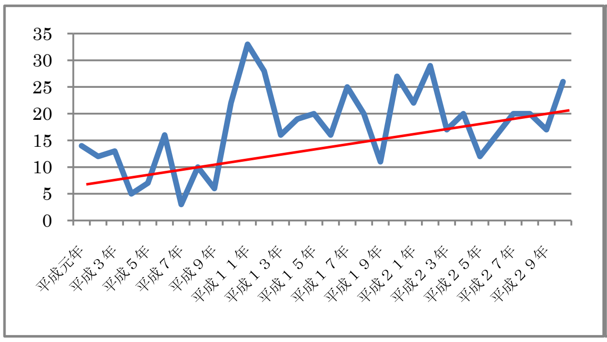
過去の発生事例を振り返りつつ、業務の参考にし、今後の食中毒予防に係る普及、啓発に生かしてまいります。

１　発生事件数、患者数について

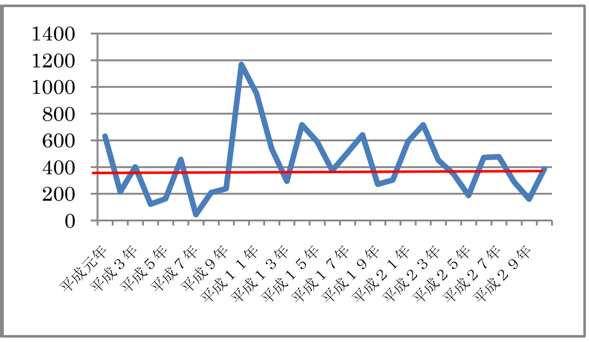
平成30年間の合計は、発生事件数で522件、患者数で12,927名に及んでいます。患者のうちご不幸にして２件の事件で２名がお亡くなりになってます。１年間の平均では、事件数17.4件、患者数430.9名の発生がありました。

年次毎の推移をグラフにすると以下のとおりであり、事件数、患者数ともに年毎の増減があるものの、事件数は微増、患者数は均衡という傾向になっています。

【年次毎の事件数】（縦軸：事件数）

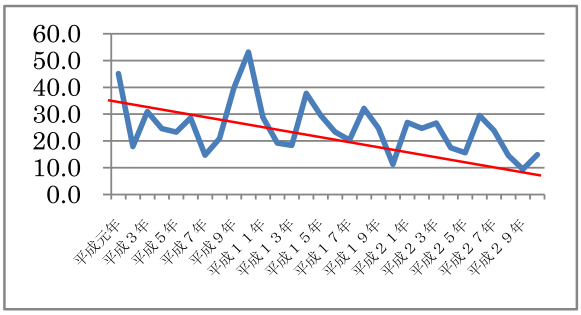


【年次毎の患者数】（縦軸：患者数）



１事件あたりの患者数は平均で24.8名。年次毎の推移は以下のとおりであり、若干ながら減少傾向にあるといえます。

【年次毎の１事件あたりの患者数】



２　原因物質について

原因物質が判明した食中毒は、事件数522件のうち469件で89.8％でした。

原因物質が判明した食中毒469件のうち、分類別に集計すると、細菌性食中毒が一番多く221件（47.1％）、次いで、ウイルス性食中毒が128件（27.2％）、植物性自然毒食中毒が76件（16.2％）、寄生虫性食中

毒が24件（5.1％）、動物性自然毒食中毒が11件（2.3％）などでした。

個別の原因物質を多い順に10年毎でとりまとめてみたところ、以下のとおりとなりました。

【原因物質別の事件数順位】

	平成元年～30年	平成元年～10年	平成11年～20年	平成21年～30年
第1位	ノロウイルス（SRSV）	腸炎ビブリオ	ノロウイルス（SRSV）	ノロウイルス（SRSV）
第2位	カンピロバクター属菌	毒キノコ	カンピロバクター属菌	カンピロバクター属菌
第3位	毒キノコ	サルモネラ属菌	毒キノコ	毒キノコ
第4位	腸炎ビブリオ	ブドウ球菌	サルモネラ属菌	アニサキス
第5位	サルモネラ属菌	カンピロバクター属菌	ブドウ球菌	ブドウ球菌

平成10年までは毒キノコを除くと細菌性の発生が多く、11年以降はノロウイルス（ＳＲＳＶ）が１位となっています。カンピロバクター属菌は11～20年、21～30年で２位と多く発生があり、毒キノコは全体を通じて２，３位、ブドウ球菌も４，５位と安定して発生がありました。

ちなみに、直近３年間の原因物質で多いものは、下表のとおり、事件数としてはノロウイルス、アニサキスの発生が多い傾向にありました。

【平成２８～３０年次の年次毎の原因物質別事件数、患者数】

	平成28年（事件数、患者数）	平成29年（事件数、患者数）	平成30年（事件数、患者数）
第1位	ノロウイルス（9件、193名）	アニサキス（6件、6名）	カンピロバクター（7件、36名）
第2位	毒キノコ（3件、10名）	ノロウイルス（5件、109名）	アニサキス（7件、7名）
第3位	アニサキス（3件、3名）	カンピロバクター（2件、20名）	ノロウイルス（5件、239名）

３　患者数の多かった食中毒事件

１事件あたりの患者数が100名を超えた事件は30年間で19事例ありました。

原因施設種別では飲食店が圧倒的に多く、原因食品では弁当（仕出し弁当）が多く、原因物質は、近年10年間では全てノロウイルスによる発生でした。

【患者数１００名以上の食中毒事件】

	発病年月日	原因施設種別	原因食品	原因物質	摂食者数	患者数	死者数
1	30/12/28	飲食店	弁当	ノロウイルス	1,501	185	0
2	27/1/8	飲食店	提供された食事	ノロウイルス	240	157	0
3	26/1/7	飲食店	仕出し弁当	ノロウイルス	489	216	0
4	22/1/12	飲食店	仕出し弁当	ノロウイルス	503	206	0
5	21/2/14	飲食店（ホテル）	宴会料理	ノロウイルス	904	244	0
6	19/9/15	魚介類加工施設	イカの塩辛	腸炎ビブリオ	363	109	0
7	17/8/14	飲食店	寿司	黄色ブドウ球菌	289	113	0
8	15/12/24	飲食店（旅館）	提供された食事	ノロウイルス	243	136	0
9	14/7/28	飲食店	弁当	病原性大腸菌	1,694	425	0
10	13/8/14	飲食店（旅館）	旅館の夕食	ウェルシュ菌	112	101	0
11	11/11/1	飲食店	仕出し弁当	ウェルシュ菌	151	102	0
12	11/8/12	魚介類販売業	刺身（アオヤギ）	腸炎ビブリオ	341	266	1
13	10/11/16	飲食店	提供された食事	黄色ブドウ球菌	694	147	0
14	10/8/16	飲食店	仕出し弁当	Ａ型溶血連鎖球菌	437	372	0
15	10/7/31	飲食店	弁当	サルモネラ属菌	689	219	0
16	9/9/12	飲食店	持ち帰り寿司	腸炎ビブリオ	176	115	0
17	6/7/16	飲食店	弁当	腸炎ビブリオ	2,386	250	0
18	3/3/2	集団給食施設	不明	不明	259	128	0
19	1/6/24	不明	不明	カンピロバクター属菌	403	243	0

茨城県内で発生している犬 Anaplasma phagocytophilum 感染症 これまでに分かったこと

第７支部　福　井　祐　一

2019年２月16日に日本獣医内科学アカデミー学術大会にて、「新たな犬のマダニ媒介性疾患 -Anaplasma phagocytophilum感染症-　茨城県での事例」というタイトルで、私の大学院での研究内容について講演をさせていただく機会を得ました。今回はその内容をご紹介したいと思います。

本会報にもこれまで何度か書かせていただきましたが、このAnaplasma phagocytophilumという細菌は、マダニの吸血によって感染し、症状は元気食欲の低下に加えて発熱と血小板減少症を引き起こします。この感染症は欧米を中心にヒトや家畜、さらに犬や猫にも感染する人獣共通感染症として認知されていますが、日本ではこれまで発生がなかったため、ほとんどの先生方にとっては聞きなれない感染症だと思われます（私も最初の症例に遭遇するまで知りませんでした）。なおアナプラズマといえば多くの先生が連想する法定伝染病のAnaplasma maginaleはウシの赤血球に寄生する病原体ですが、私が調査・研究しているA. phagocytophilumは哺乳類の好中球の細胞質内に寄生します（アナプラズマ属細菌は血液細胞に寄生するリケッチアの一種です）。

2014年４月にシーズー、避妊雌、３歳齢が当院に元気食欲の低下を主訴に来院しました。40.3℃の発熱と好中球減少、血小板減少、肝酵素とCRPの上昇を認め、当初は免疫介在性疾患を疑って免疫抑制量のグルココルチコイドを投与しましたが、熱は下がって体調は改善したものの血小板は低値なままでした。再度問診したところ、体調悪化の10日前に茨城県つくば市内の公園を散歩中にマダニに刺されていたことがわかったので、外注検査会社のアイデックス・ラボラトリーズにてSNAP 4Dx（抗体検査）とRealPCR犬ベクター疾患パネル（遺伝子検査）を実施したところ、いずれもA. phagocytophilumのみ陽性との結果が得られました。そこでこの感染症の第１選択薬であるドキシサイクリンを投与したところ速やかに血小板数は正常に復し、PCRも陰転しました。

この内容を１年間かけて論文にまとめました。なかなか動物病院を開業しながら論文を書くというのは大変な作業で、学会発表よりも数倍ハードルが高いです。科学雑誌の参考文献（ほぼ英語！）を読んで、緒言と考察を考えて、文章をまとめて、という卒業論文を書いて以来の作業でしたので、とても一人ではできそうにありませんでした。そこで論文にまとめるにあたって、この感染症について北海道のウシやシカ、マダニで研究をされていた帯広畜産大学の猪熊壽先生に相談しました。猪熊先生に論文を添削していただき、2015年の秋に日本獣医師会雑誌に論文を投稿して、査読者との数度のやり取りを経て2016年２月号にようやく掲載されました。

論文が出たことで、様々な反響がありました。猪熊先生の帯広畜産大学内科研究室との共同研究で茨城県の犬とマダニの疫学調査をすることになり、私も帯広畜産大学を含む国立４大学の獣医学科で構成する岐阜大学連合大学院の博士課程に進学することになりました。さらに、論文を読んでくださった第７支部の佐久間由紀先生（つくば市）と第８支部の大川正剛先生（守谷市）の病院に来院した発熱と血小板減少症の患者に対して前述のアイデックスのPCR検査をしていただいたところ、A. phagocytophilumの陽性例が2016年に相次いで見つかりました。

現在までに茨城県つくば市と守谷市で計７例のA. phagocytophilumの症例犬を遺伝子検査にて確定診断しています。2016年11月に大川先生が診断した守谷市の症例は、第１病日の血液を凍結保存してく

ださっていたのでA. phagocytophilum遺伝子の系統解析を実施することができて、茨城県内で発生したA. phagocytophilumは中国・韓国のヒトや犬に感染するものに極めて近縁であることが判明しました。2018年に診断した２症例では、急性期の末梢血塗抹標本が保存されていたので、入念に観察したところ好中球細胞質内に菌体の集合体である桑実胚が出現しているのが確認できました。

それでは次に、茨城県内ではA. phagocytophilumはどの程度の犬が感染しているのか？という疑問が生じました。海外では大多数の犬はA. phagocytophilumに感染しても症状を示さずに自然治癒することが報告されています。そこでA. phagocytophilum感染症例を見つけてくださった佐久間先生と大川先生、さらに第６支部の田上宣文先生（土浦市）、第９支部の稲川憲司先生（下妻市）、古河市開業の堀江崇文先生にご協力いただいて、2016～17年に来院した、主にマダニ寄生歴がある犬の血液を用いて疫学調査を行いました。その結果、以前に実施された全国調査よりも高いA. phagocytophilum抗体陽性率（2.5%）を認め、さらに遺伝子検査ではA. phagocytophilumの不顕性感染例も１例確認されました。

さらに、茨城県内でA. phagocytophilumを媒介しているマダニが何なのか？という疑問も生じました。A. phagocytophilum感染例が見つかったつくば市と守谷市でマダニを採取してA. phagocytophilum遺伝子保有状況を調査したところ、守谷市で採取されたフタトゲチマダニから感染犬から得られたA. phagocytophilumとほぼ同一の遺伝子配列が得られました。このことから茨城県でA. phagocytophilumを媒介するマダニはフタトゲチマダニである可能性が示唆されました。なおフタトゲチマダニは昨今西日本を中心に流行しているSFTSを媒介するマダニですので、フタトゲチマダニ寄生の後から発熱と血小板減少症を呈した犬については、A. phagocytophilumだけでなくSFTSについても鑑別診断に加える必要があります。SFTSについては関東では国立感染症研究所にて検査してもらえますので、疑わしい患者に遭遇しましたらぜひそちらにご相談ください。

以上がこれまでにわかった内容の概要になります。この研究を進めるにあたり、貴重なサンプルや症例データを提供してくださった上述の開業の先生方、さらにPCR実験設備を利用させていただきました茨城県県北家畜保健衛生所の大内所長をはじめ所内の先生方にも大変お世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。

私の研究はまだ博士論文をまとめるという大仕事が残っているので道半ばではありますが、これまでの経緯を振り返ってみると、この研究がきっかけでたくさんの先生方に出会うことができました。また開業獣医師にとっては一銭の得にもならないようなことですが、ある疾患を発見してそのバックグラウンドを解明するという貴重な経験ができました。

珍しい疾患に遭遇した経験は臨床の先生方でしたら誰しも一度はあると思います。それをどういった形であれ、世の中に発表するのは獣医療の発展につながるし、自らのスキルアップになると思って私はこれまで取り組んできました。今年は千葉県で関東・東京三学会が10月27日に開催されますので、１例報告でも構わないので臆する事なくぜひ一度発表してみることをおすすめします。もしも発表してみたいが方法がわからない、あるいは自信がないという先生がおられましたら、県西ブロックの有志の先生を中心に毎月開いている症例検討会では、発表スライドの作り方や抄録の書き方について第10支部の栗田吾郎先生に懇切丁寧にアドバイスしていただいていますので、ぜひそちらの方にも参加していただけたらと思います（詳細については前号の私の記事に載っていますのでご参照ください）。

日立市かみね動物園「はちゅウるい館」の開館について「はちゅウるい館」ご案内

日立市かみね動物園　飯　田　伸　弥

去年の11月18日、日立市かみね動物園に『はちゅウるい館』がオープンしました。はちゅうるいの真ん中の『う』の字がカタカナの『ウ』の字なのは意味があって、爬虫類だけを展示する訳ではなく、日立市の鳥であるウミウと爬虫類を展示する複合施設として誕生したからです。

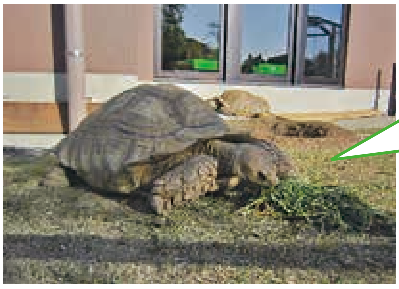
ウミウの他に約40種類もの爬虫類がいますが、形も大きさも様々で見ている人を飽きさせません。また、その生態にあった飼育を心掛け展示方法も工夫されています。

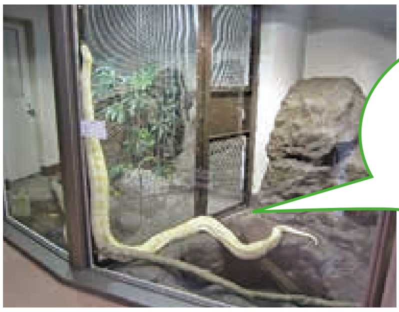
近くで見る事ができるので、新たな魅力を発見できるのではないでしょうか？

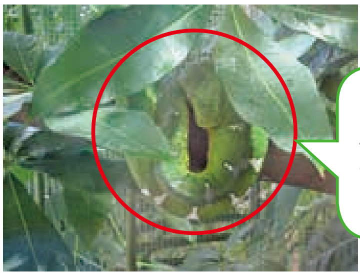
是非、『はちゅウるい館』を見にかみねに遊びに来てください。心よりお待ち申し上げております。

はちゅウるい館

鵜取り場を模したウミウ舎


ケヅメリクガメ
リクガメのスペースはゆったりしていて、グラウンドもありのんびり鑑賞できます。


ビルマニシキヘビ
大型のヘビで4ｍを超えます。この子は「ナナコ」です。


エメラルドツリーボア
主に鳥を食べるヘビで一番この姿勢が落ち着く様子

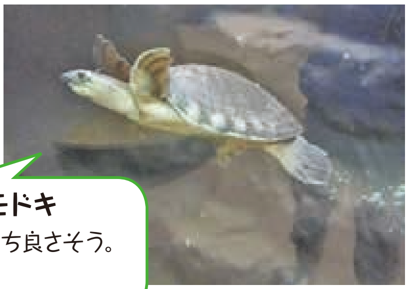
アオジタトカゲ
名前のとおり青い舌です。

インドシナウォータードラゴン
吹き抜けの2階部分にいつもいて、高い所が好きなご様子。

エボシカメレオン
大人気。階段の所にいて、動いている水しか飲まないそうです。

ミズオオトカゲ
潜水が得意な、大型の肉食系トカゲです。

カメレオンモリドラゴン
体色が変化します。



スッポンモドキ
大型の水槽で気持ち良さそう。かわいいです。

実は3種混合展示
コモンマーモセット、グリーンイグアナ、アカアシガメがいます。
棲み分けができています。

アシナシトカゲ
世にも不思議なヘビのようなトカゲです。

カミツキガメとアカミミガメ
ご存じ、外来種代表！

クチヒロカイマン
ワニでーす。

こぼればなし

東京タワーの怪

　サウジアラビアの皇太子が、東京を訪れた。日本は石油がないから売ってくれという。事実中東方面から、そのほとんどを輸入している。しかし皇太子は実際に東京に来てみて驚いた。ガソリンの使用量はべら棒に大きい。それだけの経済力がある。そして更に驚いたのは『東京のど真ん中で石油を掘っているではないか、その証拠にあれを見よ?』と指さした指の先には東京タワーの矢倉があった。　S．S

食の安全と家畜の診療

茨城県農業共済組合連合会　松　本　　茂

新聞やＴＶを見ていると最近ＡＩ（人工知能）という言葉をよく耳にします。この言葉を耳にするたび牛トレーサビリティ制度を思い出します。平成13年９月に我が国で初めて確認されたＢＳＥ（牛海綿状脳症）のまん延防止のため、生産から消費までの個体の移動情報を検索できる制度が構築されました。その大量のデータを集積しＢＳＥの発生メカニズムを特定し対応策を模索していく発想は、とてつもなく壮大なものに見えました。

しかし、現在は人間の発想に近い判断をする機械を開発するため大量のデータを利用し分析することを各分野で競っています。

平成31年から始まった改正家畜共済制度では牛トレサの個体識別情報を利用することになりました。これはNOSAI（農業共済）も農家が飼養している牛を、インターネットで牛トレサの個体識別情報を確認するということです。そうなると、獣医師が診療した牛の病傷事故診断書をNOSAI（農業共済）がトレサで確認して登録がない牛の場合は、共済金の支払いが出来なくなります。

つまり農家が牛を導入した時に正しく早く牛トレサへの登録をしなければ、せっかくの診療がただ働きになってしまいます。

ですから、こんな事にならないために、獣医師や関係団体の方々には、農家へ正確かつ迅速にトレサへ個体識別情報を登録するようご指導をお願い致します。

Q　耳標が取れてなくしてしまいました。

A　両耳に耳標が着けられていない牛は、譲渡できません。耳標がとれた場合は、至急、（独）家畜改良センターへ耳標の再発行請求を行い、耳標を再入手してください。

電話（音声応答システム）：
186-0037-80-1777（専用ダイヤル）
186-0248-48-0594（携帯、IP電話の場合）
携帯電話（携帯電話用Webサイト）：http://www.id.nlbc.go.jp/report/
パソコン（パソコン用Webサイト）：https://www.id.nlbc.go.jp

Q　内容を間違えて出生・異動の届出を行ってしまった場合、どのように訂正すればいいですか。

A　（独）家畜改良センターに修正請求を行ってください。

牛の管理者が自ら届出を行った内容の修正請求は、「牛個体識別全国データベース修正請求書」に必要事項を記入し（独）家畜改良センター個体識別部に郵送するか、パソコン（パソコン用webサイト）で修正請求してください。

送付先：〒961-8511（独）家畜改良センター個体識別部
パソコン（パソコン用Webサイト）：https://www.id.nlbc.go.jp

（農水省パンフレットより抜粋）

地鶏で全国初！
「奥久慈しゃも」が地理的表示（ＧＩ）保護制度に登録

農事組合法人　奥久慈しゃも生産組合

県北地域（大子町、常陸大宮市、常陸太田市及び高萩市）において生産されている「奥久慈しゃも」が、平成30年12月27日に「特定農林水産物等の名称の保護に関する法律（地理的表示法）」に基づく地理的表示（ＧＩ）保護制度に登録されました。

地鶏（鶏肉）として全国初の登録であり、茨城県内では江戸崎かぼちゃ、飯沼栗、水戸の柔甘ネギに続き４番目の登録となります。

１．奥久慈しゃもＧＩ登録

・登録年月日：平成30年12月27日

・登 録 番 号：第71号

・申　請　者：農事組合法人　奥久慈しゃも生産組合　代表理事　益子実津雄

２．奥久慈しゃもの特性

・茨城県畜産センター（旧養鶏試験場）が選抜した闘争性の低い軍鶏種と、名古屋種及びロードアイランドレッド種を交配した、肉質の良い地鶏です。

・県北地域のストレスの少ない飼育環境下で、低カロリーの専用飼料と良質な水を給与し、低密度飼育で良く運動させながら長期間かけてじっくり飼育しています。

３．奥久慈しゃもの評価

特定農林水産物等登録証

・軍鶏の肉質を引き継いでおり、その特性を活かす飼育方法の徹底により、肉は身がよく締まり肉汁が豊富である。また、脂肪が少なく歯ごたえがあり、鶏特有の臭みがほとんど感じられないと評価されています。

・一元的な生産管理により、生産者間の技術のバラツキが少なく、日齢を揃えた出荷を実施していることから、品質が常に一定であるとの実需者の評価を得ています。

◆奥久慈しゃもを食べられるお店は、以下のホームページで紹介されております。

大子町観光協会　http://www.daigo-kanko.jp

（公社）茨城県畜産協会　http://ibaraki.lin.gr.jp

第20回　全国山羊サミット in 茨城　開催報告

全国山羊サミット in 茨城実行委員会
実行委員長　　安　江　　　健（茨城大学農学部）

2018年10月13～14日の２日間、茨城県水戸市で第20回全国山羊サミットin茨城を開催しました。当初開催を予定していたホテルが突然使用できなくなるなど、今回は開催自体が危ぶまれましたが、関係者の皆様のご尽力により無事開催することが出来ました。茨城県獣医師会の皆様にも本サミットにご協賛いただいたことに加え、当日にもご参加をいただき誠にありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げますとともに、簡単ですがご報告させていただきます。

今回はテーマを『いばらきで山羊を語っぺよ！』と題して開催いたしました。突然の会場や一部プログラムの変更にもかかわらず、２日間で延べ368名の方に全国からご参加いただきました。第１日目は茨城大学水戸キャンパス内の講堂において、日本大学上席研究員で元国際協力機構（JICA）国際協力専門員である斎藤博氏による「ヤギによる国際協力及び開発計画」の基調講演、および全国山羊ネットワーク前代表である今井明夫氏による全国山羊サミット20周年記念講演「全国山羊ネットワーク20年のあゆみとこれから」を実施しました。午後からは一般講演として１．「茨城の山羊」を語る（茨城県内における山羊を活用した取り組みが５題）、２．山羊の飼育管理と衛生（３題）および３．各種事例報告（２題）の３つのセッションが行われました。各講演の質疑応答は活発で、総合討論では午前中の講演に対する総合討論が行われました。またポスター発表もあり、山羊に関する研究成果、山羊での頭絡の活用法や山羊との暮らしについて紹介されたとともに、山羊に関するグッズ販売も行われました。加えて会場の外では茨城大学農学部の山羊２頭が参加者を出迎え、写真撮影の対象となっていました。夜に大学生協で開催された交流会には150名を超える方に参加いただき、森のシェーブル館でご用意いただいた山羊チーズに舌鼓を打っていました。中には３次会まで水戸の夜を堪能された方もいたようです。第２日目には水戸市森林公園に場所を移し、技術研修会および体験実習として、初級者・中級者のための山羊の飼養管理、人工授精・周産期管理、牛乳によるチーズづくりおよびFAMACHA※認定講習会等が行われました。

現時点（３月31日現在）では詳細は決まっておりませんが、2019年度は山梨県での開催が予定されています。今回のサミットを契機に初めて山羊サミットに参加された獣医師会の皆様にも、お時間が許せばぜひともご参加いただけますようお願いいたしまして、ご報告とさせていただきます。ありがとうございました。

※FAMACHAカードを用いて山羊の貧血の度合いを測定し、薬を出来るだけ用いずに寄生虫（捻転胃虫）の蔓延を抑えるためのシステム。

会場前の看板

会場前で参加者を出迎える山羊達

講演時の様子

山羊グッズの展示・販売

盛大に行われた交流会

ポスター発表の様子

チーズ作り体験

山羊用頭絡作り体験

初級者・中級者のための山羊の飼養管理講習

臨床獣医師部会

臨床獣医師部会　部会長　田　上　宣　文

平成30年度、市民公開講座は（一社）日本アニマルライフパートナーズ協会の山田りこ先生を講師にお招きして『プレイズタッチ　愛犬との絆、信頼関係を深めるために』をご講演いただきました。モデル犬を会場に搬入し、実際の施術の様子をビデオカメラからモニターに上映して後方の参加者からも見えるようにしました。参加者にはぬいぐるみ等を持参していただき、講師の先生と一緒にワンちゃん行うタッチケアを練習しました。産業動物分科会では、平成31年1月31日、三の丸ホテルにて酪農学園大学教授加藤敏英先生をお招きし「臨床から考えるAMR（薬剤耐性）対策」についてご講演いただきました。小動物分科会では、つくば国際会議場において、日本小動物外科専門医・日本小動物医療センター外科の藤田　淳先生をお招きして、平成31年2月17日に第1回『動画で見る腹腔外科』、3月17日に第2回『動画で見る外科手術』を講演していただきました。手術のポイントを動画で学ぶことができ有意義な講習会となりました。

平成30年度県南ブロック事業活動報告

7月18日　役員会
10月28日　総会、研修会 「災害時の動物医療」
講演：羽山　伸一　先生（日本獣医生命科学大学、災害動物医療研究会代表幹事）
パネルディスカッション「つくば市の竜巻、常総水害など、身近な災害を振り返りながら災害時の対応を考える」
パネリスト：羽山伸一先生、動物指導センター松田智行課長
第9支部中島和則先生、第7支部植木治先生
11月4日　動物愛護フェスティバル　第8支部担当　取手緑地運動公園

今年度の研修会は、近年自然災害が相次ぐことから災害時の動物医療についての講演と、当ブロック外からも県西の中島先生や、指導センターの松田課長をお招きし、パネルディスカッションを行い貴重な体験や課題を共有しました。

また、研修会にはブロック内の市町村職員10名の参加もありました。

しかしながら会員の参加者はここ数年減少しており、これまで年2～3回行っていた研修会を1回にし、会員から徴収していた会費2,000円を廃止しました。

支部活動報告

第１支部

第１支部では平成30年度関東・東京合同地区獣医師大会において支部会員約20名が大会運営に参加しました。また、本年度も県北ブロック主催の第12回動物フェスティバルinかみねに参加し、クイズラリーを通してマイクロチップの啓発活動実施、ペットの無料健康相談会を実施しました。

３月には県北ブロック主催セミナーを実施し日本大学・枝村先生をお招きし整形外科シリーズ「①日常の診療で遭遇する代表的な股関節疾患　②日常の診療で遭遇する代表的な膝関節疾患」の講演を拝聴しました。日常の診療に即役立つ有意義な勉強会となりました。

第５支部

第５支部は龍ヶ崎市、牛久市、稲敷市、阿見町、利根町、美浦村を範囲とする県南の支部です。

平成30年

４月　狂犬病予防集合注射

５月　飼育委員会への講師派遣　阿見町立阿見小学校

７月　支部総会

11月　研修旅行、ふれあい教室　美浦村立安中小学校

平成31年

１月　新年会、臨時支部総会

３月　支部総会

研修旅行は山形県の銀山温泉に宿泊し立石寺、クラゲの展示で有名な加茂水族館などを見学し会員の親睦を図りました。

年度末に中倉優子先生が退会され、平成31年４月より野沢千明先生が入会しました。

第６支部

平成30年

４月29日　第６支部通常総会（石岡市）

10月10日～11日　支部研修旅行　長野県・大町温泉
黒部ダム・善光寺などを見学し会員の親睦交流を図りました。

11月18日　かすみがうら市総合防災訓練（ペット同行避難訓練の実施・参加）

平成31年

２月11日　支部新年会（土浦市）

第７支部

平成30年

４月９日～22日	狂犬病予防集合注射の実施
４月25日	支部研修会および集合注射反省会
８月22日	支部総会
12月３日	平成31年度狂犬病予防集合注射について市との事前打ち合わせ会議（つくば市役所）
12月５日～６日	支部研修旅行（伊勢神宮参拝、鳥羽水族館見学他）

平成31年

１月16日	支部懇親会
２月28日	平成31年度狂犬病予防集合注射全体打ち合わせ会議（つくば市役所）

第８支部

11月４日（日）に、県南ブロックの動物愛護フェスティバルの担当支部として、取手緑地運動公園で開催された「とりで産業まつり」に参加しました。

県獣医師会事務局、動物指導センター、支部会員の先生方のご協力のお陰で盛大に開催することができました。ポニー乗馬と動物ふれあい広場では多くの子どもたちに動物に触れる楽しさを感じてもらうことができ、またその子どもたちの笑顔を、両親・祖父母が見て喜んでいる姿がほほえましかったです。この、動物とのふれあいの経験で、動物が身近になり、動物を飼う人や動物を好きになる人が増えてくれればと思います。

平成30年

５月９日～12日	守谷市　狂犬病予防集合注射
13日～19日	取手市　狂犬病予防集合注射
20日～29日	つくばみらい市　狂犬病集合注射
６月28日	支部総会
７月４日	支部セミナー　「WSAVAワクチネーションガイドライン2015を読み解く」
９月11日	狂犬病予防推進部会会議
11月４日	動物愛護フェスティバル（取手緑地運動公園）
12月12日	支部忘年会

第９支部

第９支部支部長　谷澤　康史です。

平成30年度、２年任期の最終年度として活動して参りました。

まず初めに、９月９日に行われた関東・東京合同地区獣医三学会へ参加いたしました。

沢山の支部会員の先生方にご参加、お手伝いいただきまして大変助かりました。深く感謝申し上げます。

活動内容として狂犬病予防集合注射の実施、狂犬病予防対策協議会視察研修会として「栃木県警察犬訓練所」視察いたしました。

11月３日に次年度行う第９支部動物愛護フェスティバルのために第10支部動物愛護フェスティバルを

視察し勉強させていただきました。

　また、11月30日に安藤泰正先生（第９支部理事）が動物の愛護および管理の推進に多大な貢献をされた事を日本獣医師会創立70周年記念にあたり環境省より大臣感謝状が授与されました。誠におめでとうございます。

　最後に、２年間支部長として至らない点が多々あり大変ご迷惑をお掛けしたにも関わらず、日々ご支援・ご協力いただきました長倉副支部長をはじめ支部役員の先生方そして支部会員の先生の皆様には深く感謝申し上げます。

　この場をお借りしまして心より厚く御礼申し上げます。

第10支部

平成30年

　４月２日　支部総会

　８月２日　支部研修会および懇親会

　11月３日　動物愛護フェスティバル　古河公方公園

　　　　「よかんべまつり」の古河公方公園内で健康相談、家庭犬しつけ教室、マイクロチップ啓発と併せて動物愛護啓発事業を実施いたしました。

　12月20日　支部反省会

食品衛生協会から食の安心を消費者へ

食の安心・安全・五つ星事業

　日頃お店で取り組んでいる食品衛生対策が、消費者の方々にわかりやすいかたちで提供されることは、ご利用いただくお店を選ぶ上で大変重要な情報です。

　当食品衛生協会では、五つの重要な食品衛生対策を実施している会員店舗に星のシールを貼付したプレートを消費者の方々が見やすい場所に掲示する事業を実施しています。

　ハサップの義務化に備えたトレーニングとしてご活用いただきますとともに、消費者の皆さまにはお店を選ぶにあたっての目安としていただけるよう、多くの食品事業者の皆さまにご参加いただいています。

☆☆☆☆☆　自主衛生管理の取組みを示す 五つ星　☆☆☆☆☆

★従事者の 健康管理実施店

★食品衛生 管理記録実施店

★食品衛生 講習会受講店

★食品賠償 責任保険加入店

★衛生害虫等の 駆除対策実施店

★お問い合わせは、（公社）茨城県食品衛生協会 ☎029（241）9511 または最寄りの食品衛生協会へ

農林水産支部

〇平成31年2月20日に開催された第60回茨城県家畜保健衛生業績発表会を支援。

〇17題の演題のうち,平成30年度関東甲信越ブロック家畜保健衛生業績発表会に3演題,平成31年度関東・東京合同地区獣医師大会・3学会に3演題を選出。

【関東甲信越ブロック家畜保健衛生業績発表会選出演題】

1　繁殖和牛農場における感染リスク分類を活用した牛白血病対策のポイント
県北家畜保健衛生所　大矢　祥子

2　牛白血病発症抵抗遺伝子の検索と利活用
県北家畜保健衛生所　鹿島　悠幹

3　茨城県の養豚場におけるAMR対策
県北家畜保健衛生所　藤井　勇紀

【関東・東京合同地区獣医師大会・3学会選出演題】

1　バルク乳を用いたマイコプラズマ性乳房炎スクリーニング検査
県北家畜保健衛生所　高安真理子

2　牛ウイルス性下痢持続感染牛における耳片を用いた抗原エライザの活用
県北家畜保健衛生所　矢口　裕司

3　次世代シークエンサーを用いた豚腸内細菌叢の16SrRNAメタゲノム解析
県北家畜保健衛生所　藤井　勇紀

保健福祉部支部

保健福祉部支部では、公衆衛生の向上のため茨城県公衆衛生獣医師協議会業績発表会の開催を支援しました。

【公衆衛生獣医師協議会業績発表会】

平成30年度には9題の発表があり、平成30年度関東・東京合同地区獣医師大会・三学会に3題(演題⑥、⑦、⑧)、平成30年度関東公衆衛生獣医師協議会に1題(演題⑨)を推薦した。

1　日　時　平成30年5月26日(土)

2　場　所　水戸生涯学習センター(水戸三の丸庁舎)

3　参加者　75名

4　発表演題等:

①　平成29年度県政世論調査(食の安全)の結果について　生活衛生課　吉田　大輔

②　多頭飼養者の現状及びその対応により把握できた問題について　常総保健所　鈴木　信洋

③　昨年6月に発生した学校給食用牛乳に係る風味異常について　水戸保健所　飯島万紀子

④　LC/MS/MSによる豚肝臓におけるビリルビンの定量　県西食肉衛生検査所　大澤　修一

⑤　衝突誘起解離を用いたLC/MSによる動物用医薬品等の一斉試験法Ⅰの補助的検査方法の検討
県北食肉衛生検査所　宮寄　大樹

⑥　と畜場搬入豚におけるサルモネラ属菌保菌状況及び枝肉汚染状況の調査
県西食肉衛生検査所　和知亜希子

⑦豚枝肉のスカトールによる異臭事例について　県北食肉衛生検査所　萩谷かおる
⑧豚におけるＥ型肝炎ウイルスの感染実態について　衛生研究所　本谷　匠
⑨精神科病棟におけるヒトメタニューモウイルスが原因と推定された集団感染事例
衛生研究所　後藤　慶子

勤務退職者支部

当支部は、文字通り各職域支部をリタイアした獣医師153名からなる異色異能の集団です。年齢も高齢者の範疇に入れるにはちょっと違和感を持つ60代前半から前期高齢者となった団塊世代はもとより、卒寿を超えた後期高齢者まで幅広い年齢層から成る集団です。まだまだ日々現役として獣医事等の業務に携わる方や完全にリタイアなされた方々など、様々な日常を過ごしております。こうした環境のもと、勤務退職者支部としての意見集約のための代議員会議や親睦ゴルフ大会等を開催し、老いてなお衰えることのない知的好奇心を満たすための研修会を開催するなど、生涯獣医師としてのアイデンティティを第一に掲げ、模索しながら支部活動を行っております。

研修会：平成31年２月27日　茨城県市町村会館
「ハム・ソーセージの加工技術　過去から現代へ」

動物名のルーツを探る（シリーズ45　カモ）

カモ　鴨　鳧

鴨は、鴨鳥の略称で「浮かぶ鳥」が「浮む鳥」になり、さらに「浮む」が省略されカムになり、カモになったと、されている。

マガモ・オシドリ・カルガモ・コガモ・アヒル等が鴨の種類である。

アヒルは足の水かきが特に大きいことから「足広い」がアヒルと呼ぶようになったと、されている。オシドリの古い名は、オシと呼ばれていたものである。中国では、オシドリのことを鴛鴦とするが、日本のオシドリと種類の違うものである。

英名　ダック　仏名　カナール　独名　エンテ　（TS）

狂犬病の現状

勤務退職者支部　菅 原 茂 美

日本国民は、狂犬病の現状など、トント頭にないのではないか。まるで、前世紀の遺物みたいに考え、戦々恐々たる過去を忘れたかのようである。そう思う根拠は現在、狂犬病が世界中至る所で蔓延しているのに、日本人出国者数17年度2,869万人もいるのに、人間の狂犬病予防注射を打った数は、１％にも満たない微々たるもの。注射料金は自費で一人、18600円であるが、狂犬病の病原体がうようよしているド真ん中へ、ヘーチャラで飛び込む愚劣行為を繰り返しているようなもの。旅行会社も、客を逃さない為、『なーに大丈夫ですよ！安心して行ってらっしゃい！』という。人命よりも経済優先か?

＊

狂犬病の疫学：これほど緯度・経度を問わず、しかも全哺乳類に渡り発生する感染症も珍しい。古今東西、長期に渡り全世界で蔓延するから恐怖だ。日本では1950年代で動物も人も発生は見られなくなった。戦前の映画を見たが、狂犬病にかかった牛が、壁や木戸に体当たりして骨折したり角を折ったり、馬の骨折、人の狂乱状態を見せられては、正に目を覆いたくなる状況であった。日本では戦後狂犬病予防法の下、犬の予防注射が義務付けられ、やっと本病は消え去ったが、油断すると又復活は十分考えられる。あれだけの脅威をわずか100年も経たないのに、忘れてしまうのは、恐るべき国家的健忘症だ。

狂犬病予防法による同予防注射は、現在一般的に犬の登録が60%、登録犬の予防注射率が60%合わせると全犬に対し36%しか注射が行われていない状況である、対象犬で注射を怠れば、20万円以下の罰金となる。衛生的に安定した高貴の国家というものは、きちんと法を守ること。現在の日本は悲しいかな中の下。

過日北海道旅行して驚いたのは、ロシアの多分、漁船から、犬が降舟する姿を見つけた。日本では見かけぬ犬種である。犬は輸入検疫必須。もしや狂犬病の潜伏感染中であったなら、低い抗体保有地なら、忽ち本病発生の元となる。

狂犬病の症状：別名「恐水病」とも呼ばれ、人・動物とも強く水を恐れる。咬傷部から、ウイルスは末梢神経を遡り、脳に達するまで、１～３か月かかり、「風」「音」にも敏感になり、痙攣を起こし、興奮し、精神錯乱。細胞は壊されないので意識は明瞭。瞳孔反射亢進（光を避ける）。人も動物も喉が渇いて狂乱状態となるが、水を見ると狂って拒否。

狂犬病の病原体：狂犬病ウイルス。人獣共通感染症。殆どの陸上脊椎動物に感染。

汚染地域：179か国地域（毎年５万人位死亡）
全くの清浄国は、日本・オーストラリア・ニュージーランド・イギリス・ノルウェー・フィンランドなど11か国。

発生の有無：不明国多数だが、殆どが汚染国。人から人への感染はない。

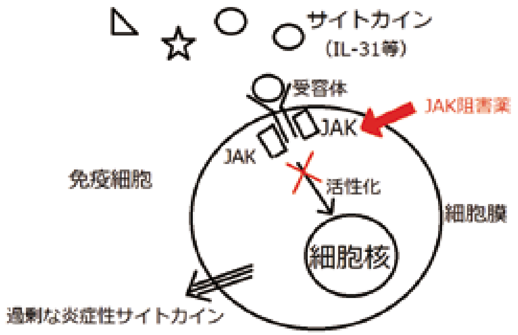
狂犬病の診断：蛍光抗体法によるウイルス抗原検出。ＰＣＲ法によるウイルス遺伝子検出。

予後：ワクチン接種以外の発症は殆ど死亡。ワクチン接種してあれば発症しても治癒する例多数。

最近の分子標的治療薬について

第３支部　村　田　　篤

分子標的治療薬は、低分子薬品とも呼ばれるJAK（ヤヌスキナーゼ）阻害剤です。動物用では2014年に、アポキル（オクラシチニブ）が一種の免疫抑制剤として発売され注目されています。近年､サイトカインやJAKの研究が進むに連れて様々な事がわかってきて来ています。あまり免疫関係に興味がないという方は、読み飛ばしてください。



犬の痒みには、インターロイキン31（IL-31）が関与が強いため、この機能をアポキルが抑制することにより炎症反応を抑えます。では、他の動物へも応用できないかと考える方がいらっしゃると思いますが、残念ながら、ヒトやネコ、マウスなどでは同じ哺乳類であってもインターロイキンの作用が異なり効果はありません。ヒトでは良く効く抗ヒスタミン剤が、イヌ・ネコではあんまり効かないように、免疫の仕組みは動物により、かなりの違いがあるようです。また、アポキルはIL-31のみならず、IL-2・IL-4・IL-6なども抑制します。そのためT細胞・B細胞も軽度と思われますが抑制的に働きます。JAKはJAK1・JAK2・JAK3・チロシンキナーゼ２（Tyk2）に分けられ約40種類のサイトカインと関連しています。ちなみにアポキルは広範囲の組織に分布するJAK1を阻害します。

犬猫のアレルギー治療に関しては悩みの種ですが、結局使用薬はステロイドがメインです。ステロイドは痒みや痛みを抑えるいい薬ですが、長期投与での副作用は脂肪の沈着・多飲多尿など副作用は多岐にわたり、注意が必要です。内服の投与が多いですが、より副作用の少ない外用ステロイドパルス療法を行うこともあります。

アレルゲンを調べる血液検査を検査センターへ出せば行うことはできますが、症状と一致しないことも多くあまり積極的に勧めていません。

減感作療法はうまくいけば効果があると思いますが、過去に自分のアトピー治療で行った経験からあまりいい印象がなく行っていません。

シクロスポリンカプセルでの治療も自分で飲んだ時の胃腸の不快感がひどかったことから最小限の投与でしか使用していません。

サプリや処方食による脂肪酸の補強やシャンプーによる保湿は皮膚バリアに問題のある個体では有効だと思いますが、アレルギーが関係していると悪化するものが多いように感じます。

治療に関しては、いろいろありますが、こう思う・この方がいいという御意見があれば、会報へご投稿お願い致します。

ヒトの重症アレルギーや免疫異常の治療では、IL-5受容体阻害薬やJAK阻害薬が使用されています。ファセンラ（ベンラリズマブ）やヌーカラ（メポリズマブ）等は好酸球を減少させる作用もある注射薬として販売されています。ゼルヤンツ（トファシチニブ）や、オルミエント（バリシチニブ）は抗リウマチ薬として使用されています。作用経路はいずれもオクラシチニブとほぼ同じです。

ステロイド→モノクロナール抗体→低分子標的薬と発展してきた免疫抑制剤は、今後も次々と開発されて行くと思います。分子標的治療薬はその根本的な仕組みから、感染防御への影響があり、副作用・価格等、気軽に使えない面もありますが、さらに発展していけば、アレルギーなどの免疫異常の病気を、根本からコントロールできる日もそう遠くないのではないかと感じます。

（アポキル錠製品概要書　参照）

オットセイ見聞録　～雨とオットセイと私～

アクアワールド茨城県大洗水族館
海獣展示課　　高　石　慎　也

ー序章　想定外の幕開けー

その日、私の内線用PHSが着信を告げた時、なぜか直感的に（ああ、ストランディングかな。）と思いました。通話ボタンを押すと案の定、「銚子でオットセイのストランディングだ。」と上司の声。しかし、続く言葉は…「何だか首にひもが食い込んで怪我をしてるそうだ。」おや、これは想定外。そのまま対応に向かうには時間が遅かったため、翌日朝から対応することに。翌朝、出発準備をしていると、「○○テレビ（某民放テレビ局）が保護の様子を密着取材したいそうだ。」とのこと。本当に“密着”するらしく、すでに駐車場にスタンバイして我々の出発を待っています。う～む、これも想定外。こうして、激動の一日が幕を開けたのです。

ー第一章　始まりはいつも雨ー

2015年４月８日、午前８時３分。必要資材を積み込んだ車で、私を含め３名が銚子市の海岸へ向けて出発しました。ご存じのとおり銚子市は千葉県。しかし、現場までのアクセスや保護収容の可否などを踏まえ、当館が対応することになったのです。この時ストランディングしたのは「キタオットセイ」。北太平洋に生息するアシカの仲間で、冬から春にかけて千葉県沖まで南下し、大洗の海岸付近でも稀に見られることがあります。

さて、約２時間かけて現場付近に到着すると、そこにも多くのマスコミが。もちろんその対応は後回しにし、取り急ぎ資材の準備と状況確認。待機してくださっていた地元役場の方に地名を確認すると、何の因果か、オットセイが上陸していた場所は、海鹿島（あしかじま）海水浴場 ―― 。その地名に引き寄せられた訳ではないのでしょうが、ともかくそこに、問題の個体を発見したのです。個体の状態を観察すると、確かに首にはひもがかかっており、裂傷を伴って肉に食い込んでいるように見えます。しかし体は起こしていて、近づく人に対して威嚇をするなど、それほど衰弱している様子はありませんでした。当館スタッフ３名で、板で囲むようにしながらケージへと収容。10分足らずで車への積み込みを完了しました。それにしても、この時も終始雨が降りしきっていました。というのも、私がストランディングの対応をする時は、雨が降っていることが非常に多いのです。そもそも海洋生物のストランディングは、悪天候により海況が悪い時、またはその後に起こることが多いので無理からぬことではあるのですが、他に対応しているスタッフの時と比べても…どうやら自分が雨男なのは認めざるを得ないようです。

保護時の首の裂傷

ー第二章　諸悪の根源ー

輸送中、車内で某ネットニュース番組の生電話インタビューに応じる（保護時の様子、個体の状態、考えられるストランディングの要因など）というレアな体験をしつつ、相変わらずの雨の中当館へ帰着しました。保護した個体は、感染防止の観点から飼育動物と同一舎に入れるわけにはいきません。屋外にフェンスで仮設小屋を作り、スノコと水を張ったコンテナを設置し、個体を収容しました。さあ、ここからは獣医師の出番。我々が個体をしっかり保定した後、状態の検分に入ります。ひもが食い込んでいる首の裂傷部を精査すると、傷はかなり深く、頸椎付近にまで及んでいます。まずは諸悪の根源たるこのひもを切除しました。ひもの正体は、合成繊維を編んだ約２㎜径、長さ60㎝の物。傷の深さとひもの素材、サイズ等から察するに、裂傷自体は外傷として先に負い、その後首にかかったひもが裂傷部分に食い込んでしまったのではないか、と推測されました。さらに保

定下にて、傷口の洗浄・消毒・軟膏の塗布、血液性状を知るための採血（後肢の血管から採取）、抗生物質とビタミン剤の筋肉注射、栄養補給のための皮下補液（ソルデム３）を実施しました。処置後は、水浴びをしたり収容スペースを歩き回ったりして活発な動きを見せていたため、翌日への期待を抱きつつ、アジとイカナゴの置き餌をしたまま一晩過ごさせることにしました。

処置の様子（皮下補液、ビタミン剤筋注）

ー第三章　招かれざる客ー

ストランディング個体を保護収容した場合、最優先課題となるのは餌を食べさせることです。栄養を与えて体力を回復させなければ、治るものも治りません。しかし、保護される前は海で生きた魚を捕食していた動物。水族館で餌として使っている死魚を食べさせるには、それなりの工夫と忍耐が必要です。まず最初に試みるのが、魚を手に持って個体の口元に提示する「ハンドフィード」。まあ、普通これですんなりとは食べません。続いて、個体が水中を泳ぐ程度に元気であれば、魚を水面に投げ入れてやる「投餌」。これが最も自然に近い給餌方法ですが、２日目以降、水に入ることがなかったため不採用。次に、飼育スペース内に魚を置いて、いつ食べるかは個体の自主性に任せる「置き餌」。これらのどの方法でも食べない場合や、他の方法を試す時間的余裕がなく緊急に餌を与えたい場合は、個体を保定して、口を開かせてから魚を喉に押し込んで飲ませる「強制給餌」を行います。ということで、一日目の夜に置き餌をし、翌朝様子を覗いてみると・・・個体はスノコの上で横たわり、全く動く気配なし。夜間置いていたアジとイカナゴも減っていません。…が、もともとすぐに成果が出るとは思っていません。午前中にもう一度、置き餌をして様子を見ます。すると小一時間後・・・なんとその魚が、きれいさっぱり無くなっていたのです！自発的に食べたのであればこんな喜ばしいことはありません！・・・しかし、個体の様子はというと、相変わらずスノコの上でぐったり。「こんな状態で、本当に自力で移動して食べたのだろうか」・・・どうしても疑念が拭えません。そこで、再度置き餌を準備し、ビデオカメラを設置して録画することに。飼育員が観察している間は、個体は全く動きません。（人の存在を気にしているのだろうか…。）一旦観察をやめ、しばらくして戻ってみると…置き餌が無くなっています！はやる気持ちを抑えながら、早速録画映像をチェック。１分経過・・・変化なし…２分10秒経過・・・動きがありました！画面の左側から、置き餌に向かって近寄ってきます。周囲の様子をうかがい、餌の周辺をうろうろ。約50秒後、イカナゴを食べました！そしてアジを咥え、さらにもう１尾。２尾のアジを咥え、そのまま画面上方へと消えていきました・・・カラスが。そう、魚を持ち去ったのは、空からの闖入者、カラスだったのです。その間、オットセイはピクリとも動かず、ただの背景となっていました。その後、わずかの時間で魚を発見・略奪したカラスの知恵に怖れを抱きつつ、心の中で思いつく限りの罵詈雑言を浴びせながら、二度とカラスが侵入できないよう、フェンスの隙間を塞いだのは言うまでもありません。結局、強制給餌と皮下補液で栄養を摂らせることとし、保定することなく初めて自ら魚を飲み込んだのは、保護してから４日後。口の横からサバをねじ込み、奥へ押し込むようにするとそのまま自力で飲んでくれました。

悪事に及ぶ前のカラス

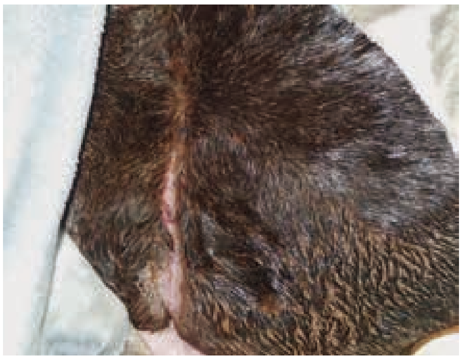
初摂餌（このあとサバを飲み込みます）

ー第四章　かわいさ余って憎さ百倍ー

自力摂餌が見られて以後は、極めて順調な回復ぶりを見せました。体力の回復とともに行動パターンも増え、飼育員が餌を持って近づくと、待ってましたとばかりにフェンス越しに近づいてきます。こうなってくると、飼育員としても愛着が湧いてくるものですが、保護個体に対して、過剰な思い入れは厳禁です。というのも、野生回帰を前提としている以上、人に馴れさせすぎてはいけないからです。餌の与え方も、ハンドフィードが安定してできるようになれば、海での捕食を想定して、水中（コンテナ）への投餌に切り替えます。初めのうちは積極的に餌を求めて泳ぎまわり、当たり前のように完食していましたが、お腹が満たされてくると、全部食べきらずに残してしまうことが多くなりました。残した魚をそのままにしておく訳にはいかないので、そのたびに網ですくって回収します。すると、この網を敵と見做したのか、作業中の飼育員に吠え立ててくるように。処置のために定期的に保定されることへの抵抗も加わり、終いには、『給餌のために近づくだけで威嚇→餌はちゃっかり食べる→給餌が終わるとまた威嚇』という状態になってしまいました。馴れさせすぎは良くないとはいえ、この状態はあまりにも・・・「個体のため」という気持ちひとつで、この理不尽な威嚇攻撃に耐え続けます。「世話してやってるのに、なんだその態度は！！」なんて絶対に言いません。思っていても言いません。思ってましたが言いません。陰では言っても直接は言いません。ああ…早く傷が治って海に帰ってくれないかな・・・。

ー最終章　1／2の純情な感情ー

6月3日。いよいよオットセイを海へ放す日がやってきました。約2か月にわたる治療により、あれほど深かった首の裂傷は嘘のように塞がり、保護時35kgだった体重は、若干太りすぎの55.4kgまで増加しました。回復した体力を発揮して抵抗を試みながらも搬入時と同じケージに収容され、県水産試験場所有の調査船に乗り込み、午前8時50分、那珂湊港を出発します。天候は、やはりこの日も雨。オットセイと、飼育員たちの様々な思いを乗せた船は雨を切り裂き、放獣にふさわしい水温帯を探して1時間ほど移動します。放獣地点到着。胸に去来する想い。これまでにもオットセイ放獣の経験はありましたが、首に負っていた大きな傷、保護期間の長さ、その間に起こった様々なドラマは、これまでに経験したことのないものでした。何とか放獣にこぎつけた安堵感と、もう二度とこの個体に会うことは無いのだという寂寥感が、半分半分で胸の中を満たします。・・・いざ、ケージ開放。久しぶりの海にも怯むことなく飛び込むオットセイ。波のうねりの中を、潜っては顔を出し、潜っては顔を出し、徐々に船体から離れていきます。そしてついに、波間に姿を消し、別れの時――。



ほぼ塞がった首の裂傷

彼女は、今も元気に暮らしているのでしょうか。もちろん、それを知る術はありません。もしかすると、一度リタイアしかけた動物を受け入れるほど、自然は甘くないのかもしれません。それでも、途切れかけた彼女の未来を繋ぎとめたことは事実です。我々水族館飼育員は、動物の飼育を通じて野生個体にも目を向け、動物の命と日々向き合い続けます。

さらばオットセイ。元気でな！

経験の逆機能

勤務退職者支部　菅　原　茂　美

あまり聞きなれない言葉だが、世の中に非常に例が多い。社会がスムーズに展開するためには、これが大きな弊害となる。

要するに、老人の小さな抵抗から、あまり幅を利かさないでほしい者が、大見えを切って、社会にのさばり過ぎる事例まで、数え上げればきりがない。

＊

さて、特に年配者などが、自分のささやかな経験を過大評価し、切羽詰まった状況に対してさえ、本腰を入れず、強く反対する傾向がある。例えば河川氾濫の恐れから早めに避難勧告を受けても、これまで70年の経験からこれくらいの雨では避難する必要はない…として、頑固に拒否する。上流に長期間豪雨が続いたとか、砂防ダムが決壊しそうだとか、言われても全く聞く耳を持たない。或いは、ふるさと活性化のため、何かをやろうとしても、今までこうしてやってきたんだから、このままでよかっぺよ！　と決して賛同しない。それによって地域ではなく、俺がいかほど儲かるかが問題で、しかも若造などの提案で、何か改革など、シャラクサイ話と決めつける。正にわずかの経験が大きくのし上がり、逆機能を大きく発揮する弊害である。

なにも、アメリカが進んでいると思ってはいないが、近年米国フロリダで起きた事例だが、なるほどと感心した例がある。フロリダは米国本土最南端で北緯30度くらい（日本の鹿児島県に相当）である、当然、冬は暖かいので、定年退職者など多数、老齢者の終の棲家となっている。私も２泊した事があるが、誠に結構で、パラダイスと言える。しかしフロリダ州の泣き所は、毎年のように強烈なハリケーンが通過する。ある年の秋、強烈なハリケーンが来ると予測され、一斉に避難勧告が出された。政府は転ばぬ先の杖として、早々に360万人に避難勧告を出した。そうしたら、指定の避難場所に集まった避難者数は、何と600万人であったという。アメリカは西部開拓時代から、己の命は自分で守る…が鉄則。この辺が、いくら催促されても動かぬ日本人とアメリカ人の大きな違い。自由主義とは他人に迷惑をかけないことが第一。動かずに迷惑をかけるのは自由主義ではなく、勝手主義というもの。

話は長くなるが、昭和56年（1981）竜ケ崎市が小貝川堤防決壊で大水害にあった。その時私は県庁にいたが、現地の畜産被害調査を命じられた。早速現地の役場や農協の職員に案内され現場に着いたが、深い所は水深９ｍはある。電柱は人間の背丈ぐらいしか残っていない。さあ、いかにして浸水した畜産農家を巡回するか。早速県庁から県警本部及び消防庁に対し、調査協力を依頼し、あの強烈な暑さの中、警察と消防の方々が、私と役場職員を乗せ、懸命にボートを漕いでくれた。そうしたらある民家の傍を通った時、その家の主人が手を振って『お巡りさんよ！なんか食べ物ないかね』。と必死で叫ぶ。消防の方は、さっき避難してくれ…とあれ程云ったのに、この家は２階造りだから大丈夫。俺は絶対に逃げない！と豪語したばかりだった。

更に珍事は続く。なんと調査に行ったら、豚の殆どはドザエモン。しかし、浮かび上がって平チャラで泳ぎ出すものもおり、トライアスロンではないが、なんと10㎞も泳ぎ切った英雄もいた。50kg位の去勢。隣町の農家が助けてくれていた。10㎞泳いだ証拠は、我々は豚コレラの予防注射をすれば、アルミの耳標に、いつどこで誰が誰の豚に予防注射をしたかがすぐわかる「マイナンバー」を刻印してある。後日豚は無事実家へ戻った。

次は逸話中の逸話。「豚も煽てりゃ木に登る」なんて諺は多分ないであろうが、田んぼの真ん中の大きな柳の木のＹの字の又（地上約７ｍ）に、なんとこれも50kgほどの中豚が、しっかり木にしがみついて、大声でギーギーと啼いている。これも私の要請で、消防と警察の方が梯子をかけて上り、体にしっかりロープを巻き付けて、数人でロープを操り、木から無事着舟。皆さんは汗の濁流であった。ウルトラＣの離れ業。これも耳標から戸籍を割り出し、無事ご帰還。今更ながら、警察・消防その他の方々に心から感謝申し上げます。ほぼ40年後の感謝の言葉です。

＊

なぜイスラム教徒は豚肉を食べないか？

チコちゃんの難問じゃないが大きな訳がある。イスラム教徒は元々、遊牧民。群れのリーダーは家畜を無事目的地に誘導するのが大きな本来の仕事。ところが豚という動物はＡが西向きゃＢは東を向く。決して統一行動をとらない。普通動物の群れは、リーダーの動きに従うものだが、豚は全く関係なし。俺は俺の道を行く。ブタもヒトも、モグラなど食虫目からの分家だが、遺伝子を分けてもらうとき、独善主義という遺伝子を豚は大量に受け継ぎ、某国リーダーは豚に倣って普通の人より多く「独善遺伝子」を大量に受け取ったのかな？　私は嗤われるかも知れないが、かなりへそ曲がりで、皓歯明眸（こうしめいぼう）の超美人であろうが、名だたる政財界の大物だろうが、すぐその遺伝子を気にする。ひょっこり現れた偶然なのか、来るべくしてきた遺伝子の塊なのか…と。ま、そんな事はどうでもよいのだが、豚はただものではない。嗅覚はイヌ以上なのだ。

そんなわけで豚は、牛やラクダの様に集団移動ができない。そこでイスラム教信者は決して豚肉を食べてはならないとコーランに書き足し、そうすればリーダーのメンツも立つ。豚肉は優れた食品だが、イスラム信者にとって、豚はやっかいなものとなり、排除される結果となった。

私はインドネシアのイスラム教信者の獣医師を、国から頼まれ、病性鑑定研修で１年間預かった経験があるが、その時一夜我が家に招待し、巻繊汁（けんちんじる）を御馳走したが、豚肉ではなく牛肉は決して最高の出来ではなかった。それでも彼は喜んで食べてくれた。国へ帰ってからも手紙でとてもおいしかったと礼状が届いた。

なお、竜ヶ崎で、牛については３戸ほどあったが、コミュニケーションよく、いずれも人よりも早く、高台に避難していて全頭無事であった。この辺が酪農組合と、しっかりコミュニケーションができ、異常乳対策とか、伝染病対策など日頃訓練が行き

こぼればなし

常陸の国の豊かさ

かつて常陸（ひたち）の国が、日本一の豊かな国土であった事をご存知であろうか？

大化の改新（645年）の後、天長３年（826年）に見直しが行われ、全国の国土が再検討された。すると上総（かずさ）国と上野（こうずけ）国と、常陸の国はいずれも非常に財政豊かで、3つの「大国」と称され、3国の国司だけが「守（かみ）」を名乗った。いずれも親王（天皇の子孫）が国司を務める事となり、「親王任国」となり、特に常陸の国は『常陸太守』と称するようになり1677村、90万石を納め、東海道に所属することになった。即天領地。即ちおいしいところはまず天皇家がせしめるという「遙任（ようにん）」国司が朝廷にいて現場に赴任しなくともよい）が認められた。国司の位階は、守、介、大掾、小掾、大目、小目等多段。この他に奈良・京都・常陸の国には「医師」を置くことが義務付けられ日蓮上人、親鸞聖人は治療のため常陸に向かう途中亡くなる。常陸の国の任務は朝廷の権力が及ばない陸奥（みちのく）を見張る「白河と勿来の関」を所管する。

Ｓ．Ｓ

届いている証拠と感服した次第。酪農だけは決して俺流ではなりたたない。同業は決められた基準を守らない事には纏まりがつかない。

炭疽病は人獣共通感染症である。軽く人を殺す生物兵器の筆頭である。よく牛に発生する「炭疽病」の芽胞は、チョットやソットの消毒などでは死なない。100℃でも死なないし100年も土中で生きている。我々獣医仲間の隠語として、炭疽病の事を「洪水病」ともいう。理由は、坂東太郎の上流である群馬県あたりで、牛が死ぬと、個人の土地に埋めるのは誰も嫌う。やむなく、利根川の河川敷きに穴を掘って埋める。すると、何十年に１回という大洪水で、掘り起こされ、下流の千葉県・茨城県で、炭疽病が流行する。私も実体験で、竜ケ崎市で炭疽病が発生した時には、すでに合乳したタンクローリーを、携帯電話のなかった時代、オートバイで追跡、ローリーが加工場に入る直前にストップをかけ、被害の拡大を防いだ事があった。合乳が次々重なると、最初１頭分なら3000円くらいの損失で済むものが、たちまち数百万円に膨れ上がる。獣医師の職業は、１分を争う、かなりスリリングな一面もある。

その点養豚は、皆俺流が強く、かなり賭博性が強い。その点酪農のような堅い基準は、窮屈ではあるが、堅実経営を求めるためには、組織一丸となった合理性が強く求められる。

＊

さて、老人の沽券にかかわる話は、強固な岩盤で、チョットやソットの説得などでは簡単に退けられる。これまで曲がりなりにも、やや安定してきたシステムを、新しい人達にひっくり返されてたまるか。△△委員とか、○○委員長とかいう地位を失いたくないからであろう。老害この上もなし。化石より、なお古い人種を、なんと呼ぶのかな？

昔、英国の王立人類学学会で、若い考古学者が、アフリカの各地で古代人類の化石を発掘し学会報告をした。すると、たちまち老学者達の攻撃の矢玉を浴びた。理由は、人類という高級な生物があの野蛮なアフリカで進化するわけはない。もし猿から進化したにしても、高等な人類はこのイギリスあたりで進化したに違いない…と猛攻撃を受け、葬り去られたという。それが後にミッシングリンク（ＡとＣをつなぐＢ）に相当する最重要な化石であったりする場合もあった。折角の新発見も、大声で罵られ、まるで台無し。古タヌキの王立学会は正に有害な存在であった。ダーウィンの「進化論」でさえ、しばらく発表を差し控えていたという。そもそも進化論は認められず、生物種は、ノアの方舟のメンバーだけが神の造った品種だと思っているキリスト教原理主義者が今でもいるという。今でもアメリカの高校で進化論を授業した教師は、キリスト教原理主義者らにより殺害されている。

農地法は、それなりに幾度となく改正はされている。食糧難時代には、それなりの効果があったであろうが、今は何もかにも輸入に頼り、現在日本の食糧自給率38％という、べら棒な低率。先進国では最低。とにかく政府は４人分の食糧で10人が生きていけ！ダメなら後の６人は黙って死んでくれ！と、はっきり言っているようなもの。

要するに私の言いたいのは、時世が変わり、莫大な耕作放棄地が増加ゆえ、人口減少地の農地は、もっと規制を緩め、土地の収得を簡略にせよ。Ｕ＆Ｉターンで若者を農村に呼び戻し、農村の活性化を図れ?と強く言いたい。色々な事情が許せば、誰でも自分の生まれ故郷で働きたいのは、当然であろう。

＊

さて話を戻し、私に言わせれば、一人の人間の経験年数は、せいぜい70年。親や祖父母から聞いた経験を重ねても100年。合わせて、170年くらだろう。そんな短期間の経験では災害の歴史など殆ど信用に足るデータとは言えまい。『この土地に70年住んでいるけど…』。と大きな啖呵を切るが、たった70年がなんだというの？もっとスケールは大きく構えるべきである。火山列島（※１）巨大地震・火山噴火・巨大津波など、千年・万年単位

で歴史を参考にすべきことである。古い事は、歴史書や古文書を加えても、1,000年がいいところ。要するに、1,200年ぐらいより古いことや、化石や地層発掘しか、正しい情報を入手できない。それを根拠に何か大きな案件を企てるのであるなら、例えば原発建設など、もし事故が起きたら大事件になる大規模開発などは、かなり慎重であるべきだ。それゆえ海に囲まれた日本列島は、活断層など、慎重に見極める必要がある。いわば火山の隙間に巨大都市を建設しているようなもの…。火山の麓に住宅建築を繰り返しているようなもの。

しかも地球温暖化現象（※２）などが輪をかけて追い打ちを掛け、必ず毎年集中豪雨など発生する災害日本なのに、決して当初予算に災害対策費を組み込まず、年度末に予備費からチョロチョロ出して間に合わせようとする。初めから災害担当大臣を置いて、しっかりした省庁を造るべきだ。オリンピックの出費はやむを得ないが、終わったらその予算をそのままにして災害復興を早く終え、災害予防費に向けるべきだ。後藤新平からほぼ100年経つが、どうしてああいう大物がでてこないのかな。雑魚の集団だから衆愚院と私は意地悪を言いたくなる。

後藤新平の足元（岩手県旧水沢市）で生まれた大谷翔平君は、アメリカでは新しい事に挑戦する開拓者精神が、かなり尊重される国民性があるという。100年ぶり、ベーブ・ルース以来の二刀流が高く評価されたのも新人王の決定要因らしかった。打力でも投球でも大谷より上の者は多数いたが、二刀流に大きな支持を得たらしい。

（※１）日本列島に活火山は111座存在する。
（※２）地球温暖化による農業被害額：
農業・食品産業技術総合研究機構（つくば市）の2018年12月11日発表によれば過去30年間（1981～2010)、世界で、トウモロコシ、小麦、大豆の年平均被害額は、424億８千ドル（4.8兆円）と、世界で初めて発表した。なお、コメは高温を好む植物ゆえ、収穫は減少していない。各減少率はトウモロコシ4.1%、小麦1.8%、大豆4.5%。

＊

自然災害や火山噴火・津波などは、巨大なプレートの移動により、重い方のプレート（海側）が軽い方のプレートの下に潜り込み、そのひずみが積み重なって、一気に解消という事なので、年間移動速度はせいぜい８㎝ぐらい故、たった70年がなんだというの？積み重なったストレスは一気に解消するのは何千年もかかった結果なのだ。従って地震予知連絡会議など誰も明確な予想など出しようもない。地味な科学者がそんな気の遠くなるような事を発言しても、政策上ぜひとも推し進めようとする政府や金を出す企業などは、気の遠くなるデータなど聞く耳持たない結果が、先の東日本巨大地震や津波による原発事故である。1150年前の貞観地震今回の東日本大地震と全く同じ場所である。

大事業をなすとき、その土地の過去数千年の歴史を紐解く習慣があれば、貞観地震の津波の高さが20m以上であったことを誰かが議論のまな板に載せるはずだった。政府も企業も急いで事業は進めたい。1,000年以上も昔のデータにとらわれる必要はないと考えるのは当然かもしれないが、過去の経験に邪魔されるのをふせぐ習慣が身につかないと、再び過ちを繰り返す可能性が大きい。経験の逆機能に支配されてばかりいては、真の進歩はない。

茨城県獣医師会創立70周年記念式典等の結果について

本会は昭和23年９月に茨城県獣医協会として設立され、以降組織・名称の変更など致しましたが、このたび創立70周年を迎えることができました。

平成元年に創立40周年式典開催以降は節目の式典の開催をいたしませんでしたが、「平成」から「令和」となる新たな時代を迎えるにあたり節目の記念事業を実施させていただきました。

ご功績者の表彰、祝賀会及び記念誌を発行させていただきましたので概要をご報告いたします。

1　記念式典概要

日　時　　平成31年3月26日（火）　14時30分～15時30分

場　所　　三の丸ホテル（茨城県水戸市三の丸２－１－１）　リルト

⑴　開会の辞　　田中宏和副会長が開会を宣言

⑵　茨城県獣医師会長あいさつ　　宇佐美晃会長があいさつ

⑶　来賓祝辞

次の方から祝辞をいただきました。

茨城県知事　　大井川　和彦　様

茨城県議会議長　　川津　隆　様

茨城県農業協同組合中央会会長　　佐野　治　様

茨城県選出国会議員　　上月　良祐　様　参議院議員

藤田　幸久　様　参議院議員

宇佐美晃会長

大井川和彦　茨城県知事

川津　隆　茨城県議会議長

佐野　治　農協中央会長

上月良祐　参議院議員

藤田幸久　参議院議員

ご来賓等一覧（以下の皆様にご臨席いただきました）　敬称略・順不同

茨城県知事　　　　　　大井川和彦
茨城県議会議長　　　　川津　　隆
茨城県農業協同組合中央会会長　佐野　　治
茨城県選出国会議員　　上月　良祐　　　参議院議員
　　　　　　　　　　　藤田　幸久　　　参議院議員

以下代理ご出席

衆議院議員
田所　嘉德・額賀福志郎・葉梨　康弘・梶山　　弘
石川　昭政・国光　文乃・永岡　桂子・神田　　裕
石井　啓一・中村喜四郎・浅野　哲　・青山　大人

参議院議員
岡田　　広・郡司　　彰

各市町村長
笠間市長　山口　伸樹　・　那珂市長　先崎　　光

以下代理ご出席
水戸市・日立市・かすみがうら市・古河市・結城市・桜川市・行方市
大洗町・茨城町・城里町・東海村・五霞町・境町

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
動物衛生研究部門　部門長　　　　　小倉　弘明

茨城県農林水産部長　　　　　　　　櫛田　浩司
茨城県保健福祉部次長兼医療局長　　吉添　裕明
茨城県県民生活環境部次長　　　　　横山　伸一
茨城県農林水産部　畜産課長　　　　根本　和彦
茨城県保健福祉部技監兼生活衛生課長　前田　　亨
茨城県県民生活環境部自然環境課長　塙　　伸一
茨城県酪農業協同組合連合会代表理事会長　大槻　和夫
茨城県畜産農業協同組合連合会代表理事会長　斉藤　　功
（公社）茨城県畜産協会　・茨城県農業共済組合連合会
全国農業協同組合連合会茨城県本部　・
一般財団法人　茨城県科学技術振興財団

そのほか事業協力関連企業、団体の皆様に多数出席いただきました。

２　記念祝賀会　15時40分から17時30分まで

記念式典終了後同ホテル４階「ステラ」で宇佐美晃会長が出席の皆様に御礼のことばを述べた後、遠山吾市顧問の牛乳による乾杯のご発声で開宴させていただきました。

来賓のご紹介とご挨拶後、祝電をご紹介いたしました。

ご来賓を囲み参加会員と共に和やかなお祝い会となりました。

今後の本会の発展を祈念し、大川秀求先生の万歳三唱で祝賀会をお開きとさせていただきました。

「協力して前進」
70周年祝い式典
県獣医師会

県獣医師会（宇佐美晃会長）の創立70周年を祝う記念式典が3月26日、水戸市内のホテルで開かれ、会員や大井川和彦県知事ら来賓合わせて約200人が出席し、節目を祝った。

宇佐美会長は「先駆者の創設時の思い、使命を振り返り、今後80年、90年、100年と、会員、動物、県民のための事業を考え、会員が協力しながら前進していかなければならない」と決意を語った。

式典では、獣医療の向上や畜産振興、公衆・家畜衛生などに功績のあった会員ら24人を表彰した。式典終了後祝賀会が開かれ、出席者は交流を深めた。

創立70周年記念式典であいさつする宇佐美晃県獣医師会会長＝水戸市三の丸

茨城新聞　平成３１年４月１日　掲載

３　記念誌の発行

40周年以降30年間にわたる獣医師会関係記録がまとまっていないことから､活動状況等をまとめて、将来に向けた記録集として作成いたしました。

また、各分野でご経験された会員の貴重な体験等についてもまとめさせていただきました。

900部作成し全会員・各地方獣医師会、県内関係行政機関、友好団体、式典来賓の皆様等に配布させていただきました。

70周年記念誌編纂・発行に際しては平成28年10月から平成30年10月にわたり、次の方々に対応いただきました。

編纂・発行委員：

比氣正雄・栗山伸人・松本徹・橋本邦夫・菅原茂美・村田篤・久家美恵子・稲葉豊範・苫瀬秀雄

資料等確認・助言：

諏訪綱雄・後藤義之

事務局：

村山正利・植田光弘・松田良子・中野真紀子

（敬称略・順不同）

以　上

平成30年度茨城県獣医師会事業実施報告書

１．「平成30年度茨城県動物愛護月間事業」への協力

平成30年度動物愛護月間に実施した、茨城県保健福祉部主催の動物愛護事業に共催し、動物愛護の啓発普及に努めた。

動物愛護に関する一般広報・街頭キャンペーン

２．茨城県獣医師会ブロック・支部等による動物愛護啓発事業の開催

動物愛護思想の啓発普及を図るため、下記日程によりブロック毎に開催された動物愛護フェスティバル等において、また、支部主催による動物啓発事業等においてペット無料健康相談及び飼い犬のしつけ方教室、譲渡会等を実施した。また、マイクロチップ普及のために、譲渡犬・猫へのチップ埋め込みと日本獣医師会への登録を行った。

地　区	開　催　内　容	開　催　日	会　　　場
県　北	・ペット無料健康相談 ・家庭犬しつけ教室等 ・マイクロチップ啓発	平成30年10月14日	かみね動物園内 「動物フェスティバルinかみね」
鹿　行	・ペット無料健康相談 ・家庭犬しつけ教室等 ・犬猫譲渡会	平成30年11月11日	霞ヶ浦ふれあいランド 「行方ふれあいまつり」会場内
県　南	・ペット無料健康相談 ・家庭犬しつけ教室等 ・マイクロチップ啓発	平成30年11月４日	取手緑地運動公園 「取手産業まつり」会場内
県　西	・ペット無料健康相談 ・家庭犬しつけ教室等 ・マイクロチップ啓発	平成30年11月３日	古河公方公園 「よかんべまつり」

【県北ブロック　かみね動物園「動物フェスティバルinかみね」　会場風景】

＜クイズラリー受付＞

＜クイズラリー＞

＜クイズラリー＞

＜マイクロチップ啓発＞

【鹿行ブロック　行方ふれあいまつり　会場風景】

＜無料健康相談＞

＜譲渡会＞

＜マイクロチップ埋め込み＞

＜ふれあい動物園＞

＜ポニー乗馬体験＞

＜家庭犬しつけ教室＞

【県南ブロック　取手産業まつり　会場風景】

＜無料健康相談・しつけ相談＞

＜マイクロチップ啓発＞

＜ふれあい動物園＞

＜ポニー乗馬体験受付＞

＜ポニー乗馬体験＞

【県西ブロック　平成30年度県西地区動物愛護フェスティバル　会場風景】

＜無料健康相談＞

＜愛犬のしつけ方無料相談＞

＜飼い犬しつけ教室＞

＜ペットフード無料サンプル＞

こぼればなし

人の膵臓　ブタで作製

新聞報道によれば、中内東大特任教授チームは、４月、学内倫理委員会に申請し、将来的には、豚の体内でできたヒト細胞の膵臓を取り出し、10年後移植に使う計画だ。具体的には豚の受精卵を、膵臓ができないように改変し、ヒトのｉＰＳ細胞を入れ、ブタの子宮に戻す。即ち豚の胎児で人の膵臓を成長させるのだ。うまくいけばその膵臓を、膵臓機能低下した人に移植すれば、ヒト本来の機能を果たすと考えられる。ラットとマウス間では成功しており、現在日本で膵臓移植が必要な人数は14,000人に対し、移植された人数は400人のみである。

Ｓ．Ｓ

3．茨城県開催「狂犬病予防業務推進会議」への協力と出席

茨城県、各市町村及び茨城県獣医師会の連携をより強化し、狂犬病予防事業の円滑な推進を図り、狂犬病予防注射率の向上を目的とした「狂犬病予防業務推進会議」が、茨城県保健福祉部生活衛生課主催により開催され、各支部代表者が出席し活発な意見交換が行われた。

＊出席者…茨城県動物指導センター担当者・茨城県保健福祉部生活衛生課担当者・各市町村担当者・
各支部代表者（理事・支部長・副支部長）・獣医師会事務局

【支部会議】

支　　部	開　催　日	会　　場
第１・２・３・４支部	平成30年11月７日	三の丸庁舎３階会議室
第５・６・７・８・９・10支部	平成30年11月８日	霞ヶ浦環境科学センター多目的ホール

4．狂犬病予防注射事故対応講習会

狂犬病予防注射指定獣医師及び新規委嘱者を対象とした、狂犬病予防注射事故対応講習会を下記により開催した。

開催日時：平成31年２月14日（木）14時～16時
開催場所：「公益社団法人茨城県獣医師会　会議室」
対象者：狂犬病予防注射指定獣医師新規委嘱予定者

【講習内容】

①狂犬病予防事業関係法規等
　講師：高藤　義彦　先生（茨城県保健福祉部生活衛生課課長補佐）
②集合注射実施時対応・事故発生時対応について
③狂犬病関連DVD視聴
参加人数：５名

5．茨城県動物愛護推進員「動物愛護パネル展」への後援

動物愛護推進員による、動物指導センターに収容された犬・猫の写真展示及び茨城県のデータ紹介のパネル展の開催中に、無料健康相談を下記により実施した。

開催日時：パ ネ ル 展　平成30年６月16日（土）～６月24日(日)
　　　　　無料相談会　平成30年６月24日（日）13時～15時
開催場所：「イオンモール水戸内原２階コンファーム・イルズ前」

＜無料健康相談の様子＞

＜パネル展の様子＞

６．夏休み親子見学会への協力と出席

茨城県保健福祉部生活衛生課主催により、犬猫の収容及び処分等の現状を知るとともに、命の大切さを学ぶことを目的とした親子見学会が開催された。本会より、講師として福井祐一先生を派遣した。

開催日時：平成30年８月２日（木）12時30分～15時30分
開催場所：茨城県動物指導センター
講　　師：福井　祐一先生（こまち動物病院）
参加親子：18名　保護者６名　児童生徒12名

福井祐一先生

宇佐美晃会長

７．学校における動物飼育研修会への協力と出席

茨城県保健福祉部生活衛生課、茨城県教育委員会主催により、学校における適切な動物飼育に必要な情報等を提供することを通して、子どもたちが愛情をもって動物と接する機会を増やし、動物愛護の精神を涵養することを目的として開催された研修会に出席した。

開催日時：平成30年８月20日（月）10時～12時
開催場所：茨城県教育研修センター
研修内容：講義１：「学校教育における飼育活動の意義について」
　　　　　　講師：廣木　一博（教育庁学校教育部義務教育課　指導主事）
　　　　　講義２：「茨城県の動物愛護の現状について」
　　　　　　講師：曾田　雄治（茨城県保健福祉部生活衛生課　主任）
　　　　　講義３：「思いやりの心を育む動物飼育」
　　　　　　講師：林　　創一（あみ動物病院）
参加人数：50名

動物名のルーツを探る（シリーズ46　タイ）

タイ　　鯛

鯛の古名は、アカメ(赤女)と呼んでいたことが『日本書紀』にみられるという。赤い魚の意味であった。更に鯛は、平たい魚であるため、「平魚(たひ)」ともされていた。

現在は、タイはお目出たい魚としてタイラカ魚とかオオヒラと呼ぶことがある。

駿河湾でとれる、オキツタイは、タイの仲間では無くアマダイのことである。

英名　シー・プリーム　　仏名　ドラド　　独名　メールブラッセ　　(TS)

８．日本盲導犬協会「盲導犬キャラバン」への協賛

公益財団法人日本盲導犬協会による盲導犬学校キャラバンが、茨城県獣医師会後援により、県内小学校で実施され、参加児童に盲導犬の仕事を伝えるとともに、人に寄り添う盲導犬の理解を深める取り組みとなった。

①開催日時：平成30年12月４日（火）
　開催場所：水戸市立赤塚小学校
②開催日時：平成30年12月５日（水）
　開催場所：阿見町立阿見小学校

＜児童が参加した講座の様子＞

９．平成30年度茨城県・鹿嶋市総合防災訓練におけるペット同行避難訓練への協力と参加

茨城県・鹿嶋市合同総合防災訓練において、避難所における同行避難動物の受け入れ体制を構築する目的でペット同行避難訓練が実施された。

開催日時：平成30年８月11日（土）９時30分～12時30分
開催場所：カシマサッカースタジアム駐車場
訓練内容：①避難動物の受付及びけい留に係る訓練
　　　　　②首輪の緩み及びリードの劣化状況の確認
　　　　　③避難動物の健康チェック

④避難動物のマイクロチップ確認又はモデル犬のマイクロチップ読取デモ
⑤啓発資材の配布

＜受付の様子＞　＜検診の様子＞

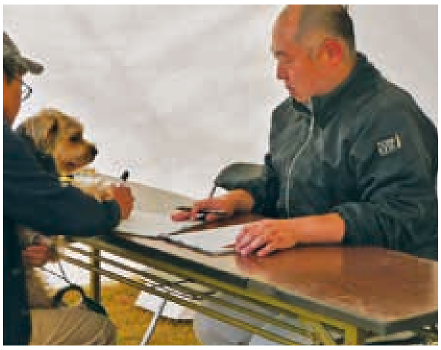
＜検診の様子＞　＜マイクロチップ確認の様子＞　＜けい留訓練の様子＞

10. かすみがうら市総合防災訓練におけるペット同行模擬避難訓練への協力と参加

かすみがうら市総合防災訓練において、避難所における同行避難動物の受け入れ体制を構築する目的でペット同行模擬避難訓練が実施された。

開催日時：平成30年11月18日（日）８時～11時
開催場所：第１常陸野公園
訓練内容：①避難動物の受付及びけい留に係る訓練
②首輪の緩み及びリードの劣化状況の確認
③避難動物の健康チェック
④避難動物のマイクロチップ確認又はモデル犬のマイクロチップ読取デモ
⑤啓発資材の配布

＜受付の様子＞　＜検診の様子＞



＜検診の様子＞

＜マイクロチップ確認の様子＞

11. 臨床獣医師部会による市民公開講座開催

一般県民を対象とした市民公開講座を茨城県獣医師会臨床獣医師部会主催により下記のとおり開催した。

開催日時：平成30年12月16日（日）13時30分～17時

開催場所：つくば国際会議場大会議室　１階　多目的ホール

テ　ー　マ：『‘プレイズタッチ’愛犬との絆、信頼関係を深めるために』

講　　師：山田　りこ先生（一般社団法人アニマルライフパートナーズ協会代表）

参加人数：200名

山田りこ先生

田上宣文　臨床獣医師部会長

日本獣医師会創立70周年記念行事が開催されました

平成30年11月30日（金）パレスホテル東京（東京都千代田区丸の内１－１－１）において公益社団法人日本獣医師会の創立70周年記念行事が開催されました。

式典は、農林水産大臣、厚生労働大臣、環境大臣をはじめとして多数のご来賓ご臨席のもと、多年にわたり獣医学の振興・普及、獣医事の向上、動物福祉の増進、獣医師会の発展等にご尽力された功労者の表彰が行われました。

本会からは次の３名の先生が受賞の栄に浴されました。

環境大臣感謝状	安藤　泰正	先生（第９支部）
厚生労働大臣感謝状	重田　雅彦	先生（第８支部）
農林水産省消費・安全局長感謝状	種村　髙一	先生（第１支部）

表彰者

記念式典に続き日本医師会会長・世界医師会前会長　横倉　義武先生により「健康長寿社会に向けて」と題して記念講演が行われました。

ご講演終了後は盛大に記念祝賀会が開催されました。

藏内勇夫 日本獣医師会長

吉川貴盛 農林水産大臣

原田義昭 環境大臣

大口善德 厚生労働副大臣

ジョンソン・チャン 世界獣医師会長

横倉義武 日本医師会長

森　英介 自由民主党獣医師問題議員連盟幹事長

森山　裕 中央畜産会長

安藤泰正先生

重田雅彦先生

種村髙一先生

関東・東京
合同
地区
獣医師大会
2019年10月27日日 千葉
幕張メッセ（国際会議場） 千葉市美浜区中瀬 2-1
日本産業動物獣医学会（関東・東京）
日本小動物獣医学会（関東・東京）
日本獣医公衆衛生獣医学会（関東・東京）
主催：公益社団法人千葉県獣医師会
共催：東京都獣医師会・栃木県獣医師会・神奈川県獣医師会・埼玉県獣医師会・群馬県獣医師会・山梨県獣医師会・横浜市獣医師会・川崎市獣医師会・茨城県獣医師会
協催：公益社団法人日本獣医師会

2019年度
日本獣医師会
獣医学術学会年次大会
期日 2020年2月7日(金)～9日(日)
場所 東京国際フォーラム
One Health
主催 公益社団法人 日本獣医師会
日本産業動物獣医学会・日本小動物獣医学会・日本獣医公衆衛生学会
後援(前年度実績) 環境省・厚生労働省・文部科学省・日本学術会議

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
茨城支店 水戸第二支社
〒310-0803　茨城県水戸市城南 3-11-14
TEL：029-224-2367　FAX：029-224-2361

【取扱代理店】
あいおいニッセイ同和インシュアランスサービス株式会社
水戸支店
〒310-0803　茨城県水戸市城南 3-5-32
TEL：029-226-3638　FAX：029-227-1448

株式会社 アスコ
http://www.asco.sala.jp

国内広域展開の動物用医薬品ディーラー
人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します

本 社

〒441-8021
愛知県豊橋市白河町100番地

TEL 0532-34-3821
FAX 0532-33-3611

営業所所在地

- 東日本支店
児玉、前橋、松本、旭、茨城、栃木
東京、大宮、宮城、福島

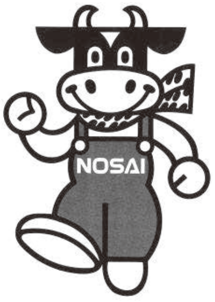
- 中日本支店
豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜、名古屋

- 西日本支店
広島、福山、山口、米子、岡山
大阪、京都

共立製薬の
フィラリア症予防薬シリーズ
モキシガード®錠
7.5
直径 5mm
15
直径 6.5mm
30
直径 8.5mm
60
直径 11mm
136
直径 14.5mm
動物用医薬品 要指示 指定
犬糸状虫症予防剤
モキシガード®錠
Moxiguard®
動物用医薬品 要指示 指定
犬糸状虫症予防・消化管内線虫駆除剤
ミルベガード®錠
Milbeguard®
ミルベガード®錠
S/1.25
直径 5mm
M/2.5
直径 7mm
L/5
直径 8.5mm
LL/10
直径 11mm
動物用医薬品 要指示 指定
イベルガード®P
チュアブル
34
68
136
272
注意－獣医師等の処方箋・指示により使用してください。
共立製薬株式会社
東京都千代田区九段南 1-5-10
お問い合わせ先：TEL 03-3264-7556(学術)

想いをカタチに
・応援グッズ製作
・刺繍製作します
横断幕
タオル
ブルゾン
Tシャツ
一般印刷・オリジナルワッペン・タオル・シャツ・ブルゾン等
販促グッズ（ポケットティッシュ・クリアファイル・うちわ等）
刺繍・プリントの事なら
SANEI
有限会社 クリエイティブ サンエイ
〒311−4303　東茨城郡城里町石塚1412−2
TEL:029-288-7778　FAX:029-288-7801
mail:info@c-sanei.co.jp　http://www.c-sanei.co.jp

安心のネットワーク
NOSAI茨城



家畜共済

～～～平成３１年から家畜共済が変わりました！～～～

▽死廃共済と病傷共済が分離され各々補償割合が自由に選べます
▽死廃共済の共済金を事故発生時の資産価値で算定するよう変更

※この他にもサービス向上の観点から様々な改正が行われました。

詳しくは、お住まいの地域を管轄する農業共済組合等へお問い合わせください。

茨城県農業共済組合連合会　水戸市小吹町 942　http://www.nosai-ibaraki.or.jp/
代　表　TEL029(215)8881　Fax029(215)8880　mail:soumu@nosai-ibaraki.or.jp
家畜課　TEL029(215)8885　Fax029(215)8892　mail:kachiku@nosai-ibaraki.or.jp
診療所　TEL029(215)8887　Fax029(215)8892　mail:shinryo@nosai-ibaraki.or.jp

Challenge

Fairness

Love

kmb

KMバイオロジクス株式会社は、2018年7月に
「動物用ワクチン」「人体用ワクチン」「血漿分画製剤」等の事業を
一般財団法人 化学及血清療法研究所から承継いたしました。
KMバイオロジクスは、引き続き動物用医薬品の開発・供給を行い、
動物の健康と、安全な食品の供給に貢献してまいります。

Quality

Honesty

確かな技術と大きな責任。すべては信頼のために。　KMバイオロジクス株式会社

茨城県動物薬品器材協会

☺動物薬品・器材関係は私達がお手伝い致します☺

ｱｸﾃｨ㈱茨城営業所
㈱ｱｽｺ茨城営業所
㈱ｴｲ・ｴﾑ・ｱｲ茨城営業所
近藤薬品（有）
（有）水府薬品
㈱大正堂茨城営業所
日本全薬工業㈱
森久保薬品㈱

https://www.tsukubabank.co.jp
筑波銀行 検索する
Tsukuba Bank 筑波銀行

2019年6月 G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合開催！
おかげさまで開館20周年。各種の会議、研修会、イベントなど、皆様のニーズにお応えします。

EPOCHAL TSUKUBA つくば国際会議

〒305-0032 つくば市竹園2-20-3 TEL 029(861)0001 FAX 029(861)1209
E-mail:office@epochal.or.jp URL:http//www.epochal.or.jp

日本政策金融公庫
―― 国民生活事業のご案内 ――

わたしたちは、地域の皆さまのための政策金融機関です。

セーフティネット　創　業　ソーシャルビジネス
海外展開　事業再生　事業承継

日本公庫では、事業資金融資、国の教育ローンなどのほか、経営に関する様々な情報を提供しています。

水戸支店（国民生活事業）又は専用相談ダイヤルにお気軽にご相談ください。
日本政策金融公庫水戸支店国民生活事業
TEL：０２９―２２１―７１３７

事業資金融資に関するご相談
事業資金相談ダイヤル
行こうよ！公庫
0120-154-505
平日9時～19時
※土日、祝日、年末年始（12月31日～1月3日）はご利用いただけません。

国の教育ローンに関するご相談
教育ローンコールセンター
ハローコール
0570-008656
平日9時～21時
※日曜日、祝日、年末年始（12月31日～1月3日）はご利用いただけません。
※電話番号のお掛け間違いにご注意ください。

JFC 日本政策金融公庫 水戸支店
日本公庫 検索 https://www.jfc.go.jp/

食品安全の国際規格ISO22000認証取得・対マカオ・ベトナム・タイ牛肉輸出認定施設
いばらきハサップ認証と畜場(牛枝肉)

株式会社茨城県中央食肉公社

代表取締役社長　小野寺　俊

安全安心な食肉処理，食肉卸売市場，部分肉加工
主な取扱ブランド　常陸牛/ローズポーク/美明豚

〒311-3155茨城県東茨城郡茨城町大字下土師字高山1975
TEL029(292)6811　FAX029(292)6895

公益社団法人　日本獣医師会

獣医師総合福祉生命共済事業

病院開業会員・病院勤務会員および事務局専従役職員の方のみご加入いただける生命保険です。

本制度の魅力

スケールメリットを活かしたお手頃な掛金

簡単な告知のみでお申込み可能

ご家族もご加入いただけます!

※ご本人の加入を条件に配偶者、お子さまもご加入いただけます。

剰余金があれば配当金も支払われます!

※配当金は支払時期の前年度決算により決定しますので、将来支払われる配当金額は現時点では確定しておりません。また、支払保険金の多寡などにより配当金は大きく変動します。

※ご加入の検討に際しましては、獣医師総合福祉生命共済事業のパンフレットを必ずご確認下さい。

お問い合せ先

公益社団法人　茨城県獣医師会　TEL　029-241-6242
住友生命保険相互会社　水戸支社　TEL　029-224-9113

CG2018-0239

Withウィズペットシーツ
※国内専門メーカーの規格外になった「ペットシーツ」をリサイクルし製品化しています！
障がいのある方がエラー品を再選別しています。皆様がペットシーツをお求めいただいた収益が給料（工賃）となっています。障がいのある方が地域の一員として社会参加と自立を目指して生活しております。
●レギュラー 32cm 44cm
●ワイド 44cm 60cm
●スーパーワイド 60cm 90cm
お問合せ先・お申込
ワークセンターひたち
■住　所 〒317-0073　茨城県日立市幸町1-13-3
■TEL 0294-32-5300 ■FAX 0294-32-5301
■E-mal info@akatsu-ki.com

科学するヤクルト
ヤクルト中央研究所（東京都国立市）
ヤクルトには「科学するひと」がいます。多くの研究者が、日夜、世界の人々の健康を願い、研究開発に力を注いでいます。
乳酸菌にできることはもっともっとあるはず。私たちはそう信じて、今日もここヤクルト中央研究所で、
すこやかな未来のために一人ひとりがミクロの世界を科学し続けています。
人も地球も健康に
Yakult
水戸ヤクルト販売株式会社／〒311-4164 水戸市谷津町1-35 TEL.029(251)8960
古河ヤクルト販売株式会社／〒306-0015 古河市南町1-62 TEL.0280(31)8960
千葉県ヤクルト販売株式会社／〒264-0017 千葉市若葉区加曽利町63 TEL.043(311)8960
いわきヤクルト販売株式会社／〒971-8122 いわき市小名浜林城字向田2-1 TEL.0246(58)8960
ヤクルトお客さま相談センター 0120-11-8960（受付時間 9:00〜17:30 土・日・祝日・年末年始を除く）

おいしさ、ふれあい。
プリマハム
香り薫る
プリマの
香薫®
こうくん
香薫あらびきポークCM 好評放送中！
プリマハム
検索

病院経営のあらゆるシーンに、ソリューションを。

セゾンプラチナ・ビジネス・アメリカン・エキスプレス®・カード

年会費20,000円（税抜）

年間ショッピング200万円（税込）以上のご利用で、翌年度年会費10,000円（税抜）

SAISON PLATINUM BUSINESS AMERICAN EXPRESS® CARD

医薬品や医療器具器械の購入にも

出張費・飲食費だけでなく、医薬品や医療器具器械の購入や公共料金のお支払いなど、ビジネスユースに対応できる、ゆとりのご利用可能枠を設定させていただきます。

※ご利用可能枠につきましては、下記お問い合わせ先までご相談ください。

「法人口座設定」で経費処理業務がスムーズに

カードのお引き落とし口座を法人名義口座に設定いただけます。個人用のカードと使い分け公私の利用を分離することで、経費処理を効率化できます。

※法人名義口座は代表者名が併記されているものに限ります。
またその場合、代表者はお申し込みご本人様に限ります。

専用コールセンターが24時間365日対応

学会の出張手配やレストランのご予約、お花の手配など、専任のスタッフが24時間365日お客様のご相談にお応えします。

ほかにもプラチナカードならではのサービスをご用意しております。

- 24時間年中無休「専任コールセンター」
- 従業員様のための「追加カード」
- 「海外、国内空港ラウンジサービス」
- 最高1億円補償「海外・国内旅行傷害保険」
- カードご利用でJALマイルが貯まる「SAISON MILE CLUB」など

※別途ご登録（無料）が必要です。

スマホ・タブレットでクレジットカード決済。 Coiney

- 月額費用無料
- 決済手数料は3.00%～

お申し込みは専用URLまで ››› http://app.coiney.com/a/ibaraki-vma

※スマートフォン／タブレットのキャリアを問わずご利用いただけます。詳しいご案内は、下記までお問い合わせください。
※ご契約形態によって、ご利用可能なブランド・手数料が異なります。

●お申し込み・お問い合わせ

株式会社クレディセゾン 東関東支社法人営業課 動物病院担当 0570-002-521（10:00～17:00 土･日･祝日休み） cl-amex038@cs.saisoncard.co.jp

※医薬品や医療器具器械のカード決済の詳細につきましても、お気軽に上記までお問い合わせください。

※このカードは株式会社クレディセゾンが発行・運営しています。「アメリカン・エキスプレス」はアメリカン・エキスプレスの登録商標です。
株式会社クレディセゾンはアメリカン・エキスプレスのライセンスに基づき使用しています。（A1808081）
※本紙記載の内容は2018年9月1日現在のものです。変更になる場合もございますのであらかじめご了承ください。（E）

SAISON CARD INTERNATIONAL UC
Credit Saison Co., Ltd.

ひまわりは日本最大級の犬のテーマパークつくばわんわんランドが運営する大規模老犬・老猫ホームです

老犬老猫ホーム ひまわり

～豊富な老犬介護経験。 超大型・要介護犬もOK～ つくばわんわんランド開園から22年。数千頭の飼育経験で培った老犬介護のノウハウを活用してお世話します。

猫専用部屋で猫も快適に生活

緑あふれる広々とした施設

明るい日差しが降り注ぐ介護棟

日光浴できる芝生の庭を完備

要介護犬・超大型犬も入所可

ご利用までの流れの一例

①カウンセリング&施設見学
②ご契約手続き
③入所日決定
④ご入所
※入所後もご面会・一時ご帰宅可能です

老犬老猫ホーム ひまわり

TEL 029-886-3601

URL http://www.rouken-kaigo.co.jp/ E-mail info@rouken-kaigo.co.jp

株式会社つくばグランドホテル つくばわんわんランド
茨城県つくば市沼田579
動物取扱業の種別：保管 登録番号：茨城県0631号
登録年月日：平成19年3月23日
有効期限の末日：平成34年3月22日
動物取扱責任者：大和谷 幸司

『けんしん』は

地域金融機関として
獣医師の皆様を**応援**します！

開業・病院建設
リニューアル
設備資金

諸費用の
お支払い
運転資金

ご来店不要
**WEB完結
ローン**

詳しくは、お近くのけんしん各店舗（84店舗）までご連絡ください。

茨城県信用組合（県内84店舗のネットワーク）
〒310-8622 茨城県水戸市大町2丁目3番12号
TEL 029-231-2131（代）
けんしんHP http://www.kenshinbank.co.jp/

編 集 後 記

新元号令和における最初の会報（第91号）をお届けいたします。ご投稿いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。

本会は創立70年を迎え、平成の最後の今年3月26日に「三の丸ホテル」にて記念式典・祝賀会を開催し、盛会のうちに終えています。本会がこれを契機に令和時代において益々発展していくことを祈念しています。

さて、令和は果たしてどんな時代となるだろうか。情報技術(IT)や人工知能（AI）などの科学技術は加速度的に進化し、特に車においては「自動運転」から「完全無人化」、そして「空飛ぶクルマ」が夢ではなく現実となるかもしれません。また、現在厚生労働省の“新開発食品調査部会”において「ゲノム編集技術」を用いて開発された農産物等の安全性について議論されています。将来、この技術の産業動物や小動物への応用はあるのか、予想のつかない変革の時代となりそうです。

本会報の発行数は90号を超えていますが、今後一層内容を充実させるとともに、令和の変革の時代に沿った誌面作りを心掛けなければならないと思っているところです。多くの皆様よりご投稿をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

（橋本邦夫）

茨城県獣医師会会報編集委員

委員長	橋本邦夫	（勤務退職者支部）
前委員長	菅原茂美	（勤務退職者支部）
委員	栗山伸人	（担当理事）
	松本徹	（担当理事）
	比氣正雄	（担当理事）
	村田篤	（県北地区）
	久家美恵子	（鹿行地区）
	稲葉豊範	（県南地区）
	苫瀬秀雄	（県西地区）
会報担当	村山正利	（専務理事）
	中野真紀子	（職員）

茨城県獣医師会会報

令和元年5月31日　発行

第　91　号

発 行 所　公益社団法人茨城県獣医師会
〒310－0851　水戸市千波1234－20
TEL029－241－6242　FAX029－241－6249
http://www.ibajyuu.com
発行責任者　宇佐美　晃
編集責任者　橋本邦夫
印 刷 所　㈲クリエイティブサンエイ

永遠の安らぎの地

ペット霊園

慈苑

慈苑は、ご遺体のお取り扱いから火葬場、納骨堂までそろった静かなペット霊園です。

あなたが愛玩された動物なら、犬・猫はもとより鳥・ウサギ・カメから金魚まで、どのような動物でもお弔い致します。

荼毘の方法は、まとめて火葬する〈合同葬〉、一体づつ火葬する〈個別葬〉、飼い主さんがお立ち会いになる〈お立ち会い葬〉の３種類が用意されています。

さらに「慈苑」では、年２回（春秋の彼岸）、合同慰霊祭を開催し、愛玩されたペットの霊をお弔い致します。

営業時間

平　　日	午前８：30～午後５：00
土　　曜	午前８：30～午後４：00
日曜・祝日	午前８：30～午後４：00

お問い合わせ・お申込みは下記へ

有限会社ケイエス慈苑管理事務所

（公益社団法人茨城県獣医師会 指定管理会社）

茨城県笠間市日沢 46 番地

TEL 0296-72-5834

FAX 0296-72-9009

時間外連絡先　080-3204-5835

人間だって、動物じゃないか。

（人へのいたわりと、同じ気持ちで。）

違っているところよりも、似ているところが多い人間と動物。
だから、人間へのいたわりと同じ気持ちで、動物の健康を見つめたい。
あなたと同じ情熱で、動物の健康を守る。
わたしたちは森久保薬品です。

Ⓜ森久保薬品株式会社